ハロウィン少女コミック館

JET

シャーロック・ホームズの冒険②

ギリシャ語通訳




ハロウィン少女コミック館
JET
シャーロック・ホームズの冒険②
ギリシャ語通訳

シャーロック・ホームズの冒険②

ギリシャ語通訳

JET

CONTENTS

ギリシャ語通訳 …… 5

アッシャー家の崩壊 …… 102

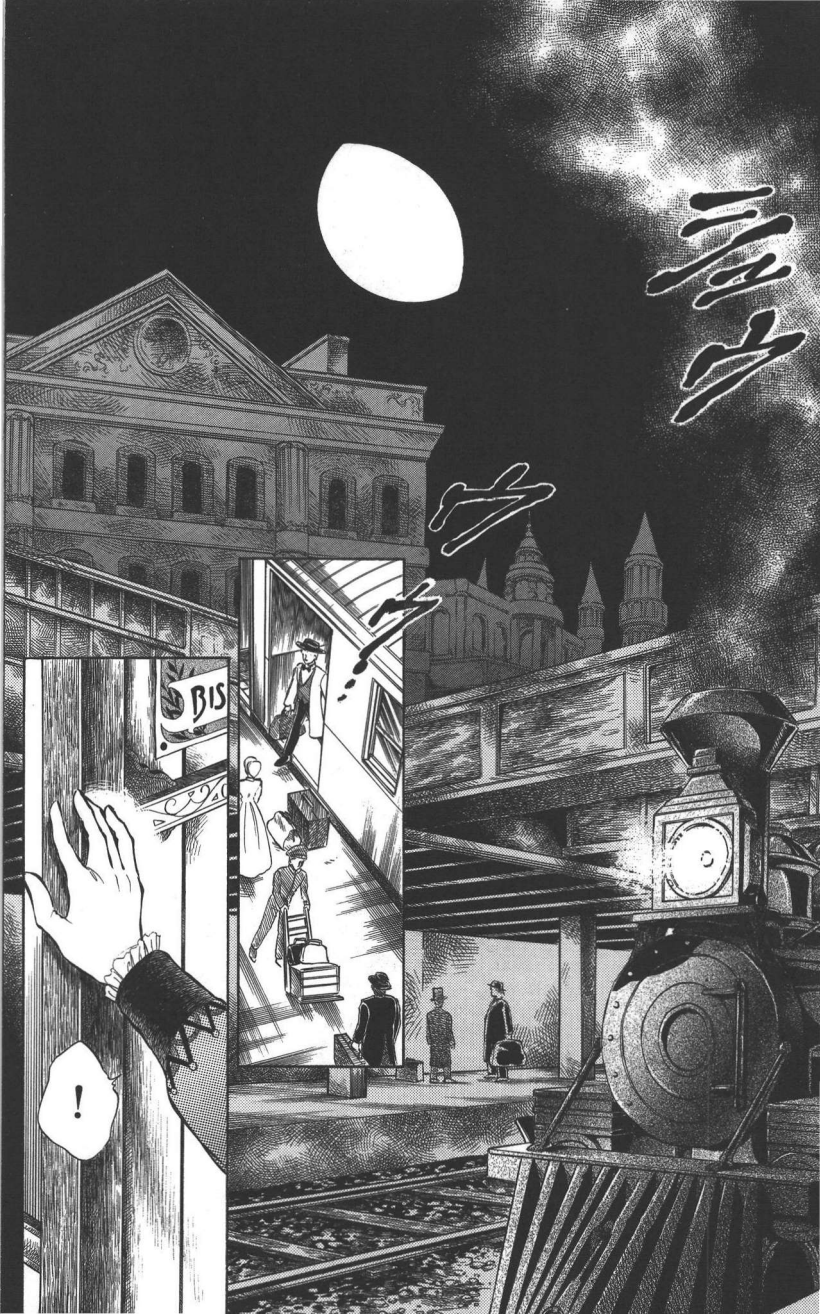


シャーロック・ホームズの冒険②

ギリシャ語通訳



「回想のシャーロック・ホームズ」
（コナン・ドイル 阿部知二訳 創元推理文庫）より


ニョッ
ヌッ
BIS
!


ハロルド！
おお！
ハロルド!!


来たのよ
とうとう
来たんだわ——


…でも
ソフィー…
いいえ！
私は
この身ひとつで
貴方のものになる
それは
誰にも
止められや
しないのだわ
ヒィ…


ようこそ
お嬢さん――
この街(ロンドン)へ――


——19世紀末——
ロンドン
女王陛下の名の下に
史上最高の繁栄と
発展を誇る
巨大都市——

そこはまた
最悪の犯罪都市
でもあった

だからこそ

我が友人の
風変わりな職業も
成り立つ訳だが――

待ちたまえ


——その推察は
あきらかに誤り
だよ
ワトスン君
今までの情報からして
そんな結論が
でることは
有り得ないのだ
——私の同居人にして

おそらくは
世界でただひとりの
諮問探偵

〝名探偵
シャーロック・ホームズ〟

すまないねえ
君とは
ここの出来が
ずいぶん違う
ようなのでね

いやいや――
ワトスン君

彼とは
ずいぶん長い
付き合いだったが


こういった——
推理力や観察などは
訓練によって
ずいぶん
向上するのだよ
むろん
遺伝的な
才能の差異は
復うべくも
ないがね
ホームズ自身が
全く身寄りの話を
しなかったせいもあって
私は
この友人を
天涯孤独の孤児だと
思いこんでいた——
現に
僕の兄の
マイクロフトなんか
僕より多く
この才能を持っている

……え？

何か？

…いや
だって
その

君よりも
すごい能力の
持ち主なんて
想像もつかないよ

そこまで兄さんを
たてることも
ないじゃないか


ちょうどよい頃合だな
出かけられるかいワトスン君
どっ…どこへ――？
ディオゲネス・クラブさ
？
ワトスン君
僕は謙遜を美徳のひとつに数える人たちには同意できない


論理家は
すべてのものごとを
あるがまま
正確に見なければ
ならないのだ
だから
兄は僕より
すぐれた観察力を
もっていると
僕が言えば
それは
文字通りの真実
なのだよ
……
それを証明
してみせよう
つまり――
その
〝ディオゲネス・
クラブ〟へ行けば
君の兄さんを
紹介してくれる
訳だね？


幸い
散歩には
美しい晩だよ
しかし
信じられないなあ
それほどの探偵を
警察も世間も
知らずにいるなんて


探偵？
兄には
そんな能力は
ないよ
だって
君はさっき——
さあ！
観察力や推理に
かけて
僕より優れる
といったのだ
彼には
探偵に必要な
行動力も野心も
持ち合わせてはいない
ロンドンで最も
珍しいクラブと
珍しい男を
紹介してあげよう
——ただし


僕がいいというまで
一言(ひとこと)も
口をきいては
いけないよ
!?
TIMES
じろり。
…オイ
ホーム…
シッ
……


GUEST ROOM
驚かれましたかな？
ここでは会話はおろかお互い関心を持つことも許されておらんのです
はじめまして
あなたが記録係になられてからいたるところで弟のうわさを聞きますよ


——これが
マイクロフト・ホームズ
だった
でっぷりとは
していたが
あきらかに
その表情のするどさや
灰色の瞳には
我が友人を思わせる
ものがあった
ふむ
あの人物を
どう見るね？


軍人あがりに
見えるが――
しかもまだ
官給品の長靴を
はいているから
ごく最近
除隊になった
ばかりだねえ
あの日焼けから
みると
インド帰りだ
下士官の
ようだね
あの体重では
工兵は無理
だろうから
砲兵か
ごく最近
親しい人を
亡くしているね
――たぶん
細君だろうねえ
そして
子供がひとり――
オヤオヤ
ひとりじゃないよ
シャーロック


ガラガラと
絵本を
持ってるじゃないか
――子供は
ふたりだよ
ラピュタ
な？
KNOCK KNOCK!
おはいり！
メラスさん
シャーロック！
おまえに
ぴったりの事件が
あるんだがね

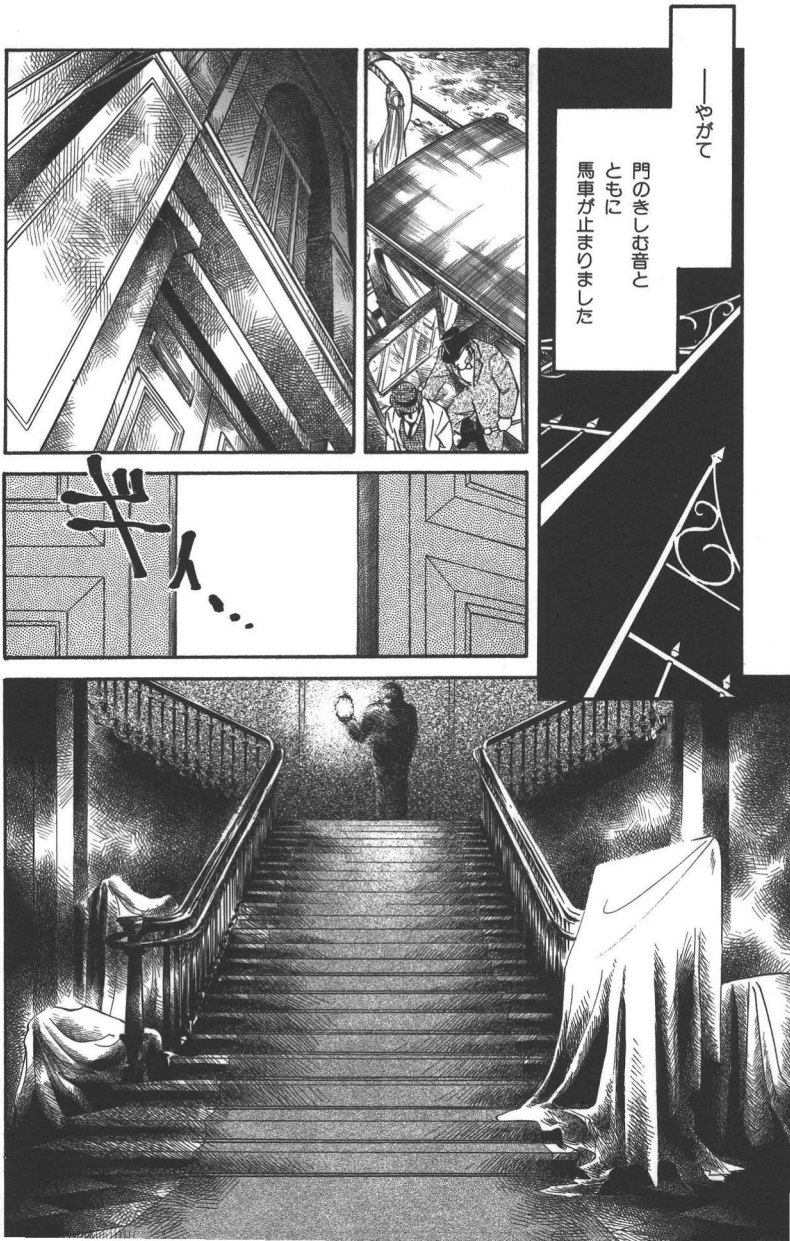

こちらは
メラスさんといって
私の上階に
お住まいの――
ああ…
あなたが!!
あの!
シャーロック・ホームズ
さんですか!!
どうか
どうか
お願いです
この謎を
解いてください
あの――
気の毒な男が
どうなったのか
それが解けるまで
私はどうにも
心が…
ポ!


どうぞ メラスさん
お座りなさい
落ち着いて——
ビクッ。
は…
はい……
最初から
どうぞ
はい…
すみません…
あれは——
おとついの晩のこと
でした……


…メラスさん
メラスさん？
私 ラティマと申します
こんな夜分遅くに申し訳ありませんが――
ああ！
ギリシャからの客人が困っておられまして――
私はギリシャ語の通訳をやっております
ですから
時折 夜遅く呼び出されることもありますので
その時もそれほど驚きはしませんでした


ゴゴゴゴ
――しかし――
！
ちょっと
目隠(めかく)しをさせて
頂(いただ)きますよ
実(じつ)をいうと
あなたに行き先を
知られたくない
のでね
――でも
決してご損(そん)は
させません
…し…
しかし
これは
あまりに…


ガシャ
情けない話ですが
私はすっかり
怖じ気づいてしまいました
どのみち素手でも
私など
かないそうにない
相手でしたし…
……
2時間あまりも
走っていたでしょうか
時には
敷石の上を
また時には
違う音の道を——

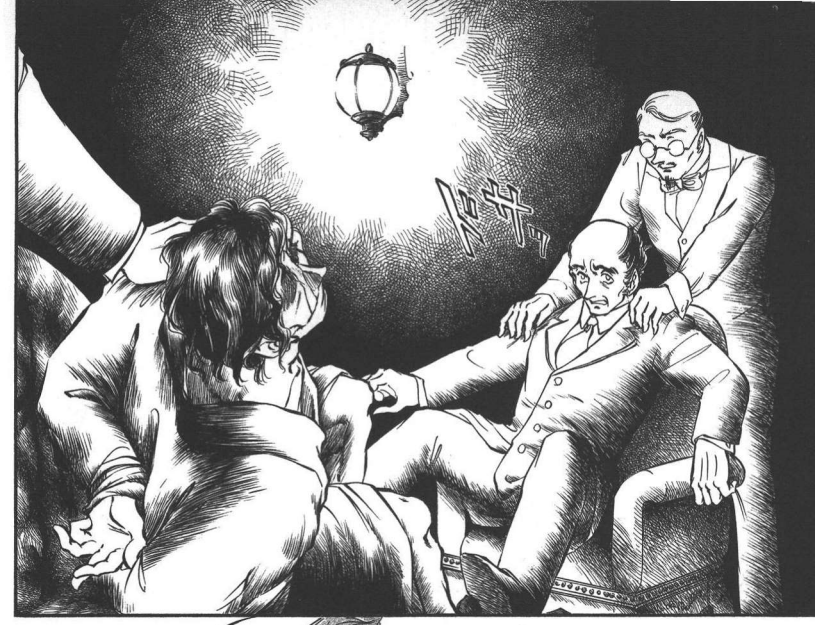

——やがて
門のきしむ音と
ともに
馬車が止まりました
キ
ー


——その方がメラスさんだね？
ハロルド
ヂヂヂ
さあさあメラスさん
お気を悪くなさりなさんな
お仕事ですよ仕事!!


……な……
何をすれば
……？
あんたは
ギリシャ語通訳
じゃないのかね？
我々の客人の
ギリシャ紳士が
今 ここに来る
我々の質問を
向こうに伝える
その返答を
我々に伝える
——それだけのことだ
——くれぐれも
よけいなことは
しゃべらんように
——な？
ギッ!!


!

ようし
ハロルド
石盤は
持ってきたな？

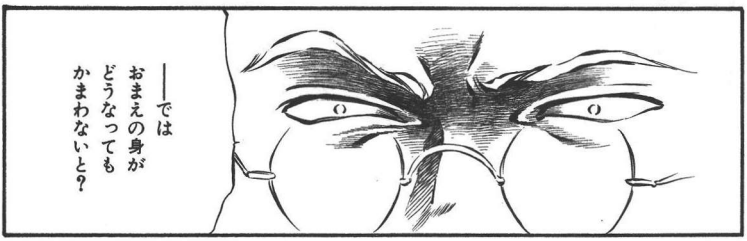



では まず
最初の質問だ
『書類に署名する気に
なったかね？』




否.
石盤をどうぞ?
——断じて否!!——


『どんな条件でも？』
――私の目の前で彼女が
私の知るギリシャ人神父によって
結婚しない限りは


――ではおまえの身がどうなってもかまわないと？


――私のことなどかまわん！――
この奇妙な
しかし 恐ろしい
押し問答が
どれほど続いた
ことでしょう


そのうちに
ふと
うまい考えが
浮かびました
幸い
悪党どもは
まったくギリシャ語が
わからないよう
でしたので――
『そう強情をはると
ためにならんぞ』
あなたは誰です？
質問のあとに
私自身の言葉を
付け加えてみたのです
――すばらしい！





聞き出した
ところによると

彼の名は
ポール・クラティディズ



ロンドンは
初めてで

3週間前に
アテネから
やってきたとか——


——あと5分もあれば
もっと詳しいことが
聞けたのですが——
『財産は絶対
おまえのものには
ならんのだぞ』
大丈夫ですか？
悪党の手にわたすものか！
——ものを食べさせません——
絶対に
わたさないと…
なら
もう1度
聞くんだ!!
ハロルド？
そちらに
いらっしゃるの？

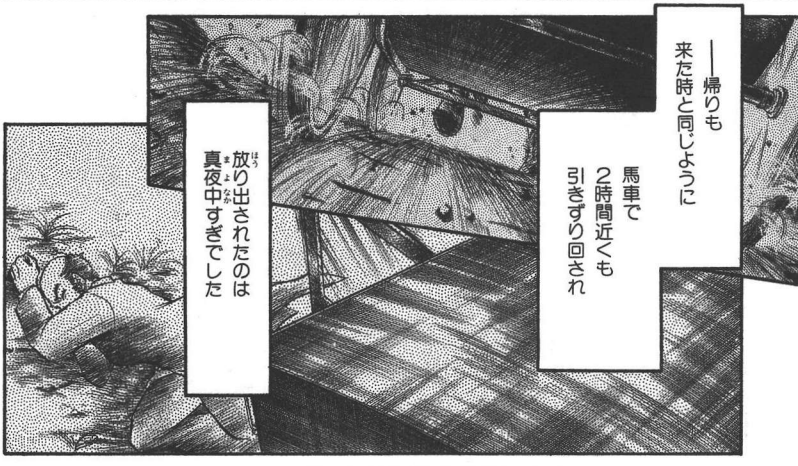

二階は
とっても
さびしいわ
――ねぇ――
……え？
！


ソフィ！
ソフィ！
ポール!?
ポールじゃないの!?
ガッ
おいで！
ソフィ!!


どういうことなの
ハロルド!?
いいんだ!
なんでもないんだよ
なぜここに……
ソフィ……
ポール!!
キャアア…
…あ…
!


ご苦労だったね
メラスさん
さあさあ
こいつは
謝礼だ
充分すぎる
額だろう？
ご覧のとおり
こいつはとても
内密な事柄でね
本来なら
あなたの手など
わずらわせたくは
なかったのだが
このことを
誰かに――
くっくっ
そう
たったひとり
にでも
話したら
その時は――


死後の救済を
祈ることだ――


――帰りも
来た時と同じように
馬車で
2時間近くも
引きずり回され
放り出されたのは
真夜中すぎでした


…あとで
その場所は
ウォンズワース公有地の
そばだったと
わかりましたが…


…これで
私の冒険は
終わりです
警察は
私の言うことを
信用してくれませんし
これ以上
何もわかりません
…ただ
できることなら
あの不幸な男を
助けたいのです
この街に住む
同国人として
できるだけの
ことはしたいと…


もちろん
探偵料は
なんとか――
――兄さん！
何か手を
打ちましたか？
THE DAILY NEWS
〝ポール・クラティディズ氏
アテネより来訪の
ギリシャ紳士
右の所在に関し
情報提供を求む
謝礼金進呈〟
THE DAILY NEWS
THE GREAT FIGHT AGAINST GO
Mrs. Pankhurst Again
THE DAILY NEWS
COERCION.
〝同 ギリシャ婦人
ソフィ こちらの情報にも
同様に謝礼金〟
これを
あらゆる新聞に
出した
応答は
まだない


ギリシャ公使館に問い合わせは？
何も知らんようだ
ではアテネの警視総監に電報は？
クッ
ホームズ家の〝行動力〟はすべてシャーロックに受け継がれたようだ
ではシャーロック
この件はおまえに任せる
見事解決して見せろ


あの…
えと…
探偵料は?
――メラスさん
充分に警戒なさることです
この広告であなたの裏切りは悪党どもに知られていますからね
…は
はい…


…実に奇妙な話だねえ
そうかい？
解決の見通しがついているのかい!?


これだけの情報がそろっているんだ
君にだって理論の組み立てはできるはずだが？
むっふ

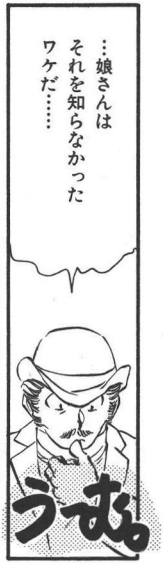

…そうだねえ
おそらくは
ふーっと…
このソフィという娘さんはハロルド・ラティマとかいう英国人に誘拐されたんじゃないかね
どこから?
そりゃもちろんアテネから
――いや


この若い男は全くギリシャ語が話せない
――婦人のほうがイギリスへ来たと見るべきだろう
なるほど
じゃあイギリスで知りあって…
EUST
1837
PADDINGTON


口説き落とし
たんだ！
〝駆け落ちしよう〟
とかなんとか――
だろうね
そこへ
ギリシャから
彼女の恋人が
追っかけて来た
ポール・
クラティディズ
とかいう――
悪党どもが
欲しがっているのは
〝財産〟だ
その不幸な男は
婦人の管財人か
近親者――
おそらくは
兄ではないかな


彼は
不用意にも
待ち構えていた
悪党どもの
手中に落ちて
しまった
そして
妹の財産を
二人組に譲渡しろと
書類に署名することを
迫られているのだろう


すごいじゃないか
ホームズ！
そこまで
解っていれば…


…娘さんは
それを知らなかった
ワケだ……
うむ。


――問題は
〝時間〟なんだ


我々が
奴らの隠れ家を
探し出すまで
連中が
これ以上の暴力を
ふるわずにいて
くれるか——
兄の体力が
保つかどうか——



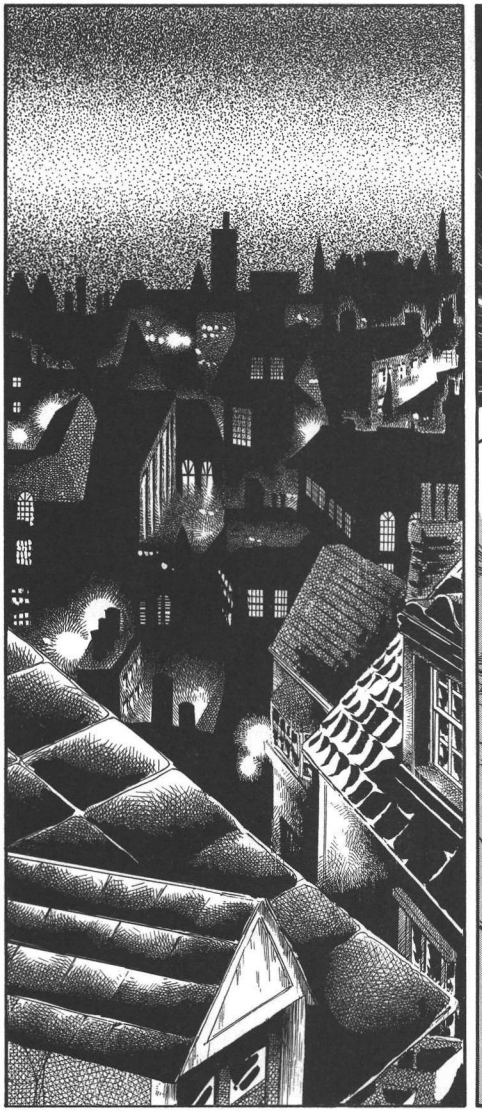

…は…
はい？
あ
大家さん
階下にお客さんですよ！
なんでもついさっきお会いしたとか――
――あ！


ホームズさんだ！
はいっ
すぐ
行きますから――
伝えましたよ

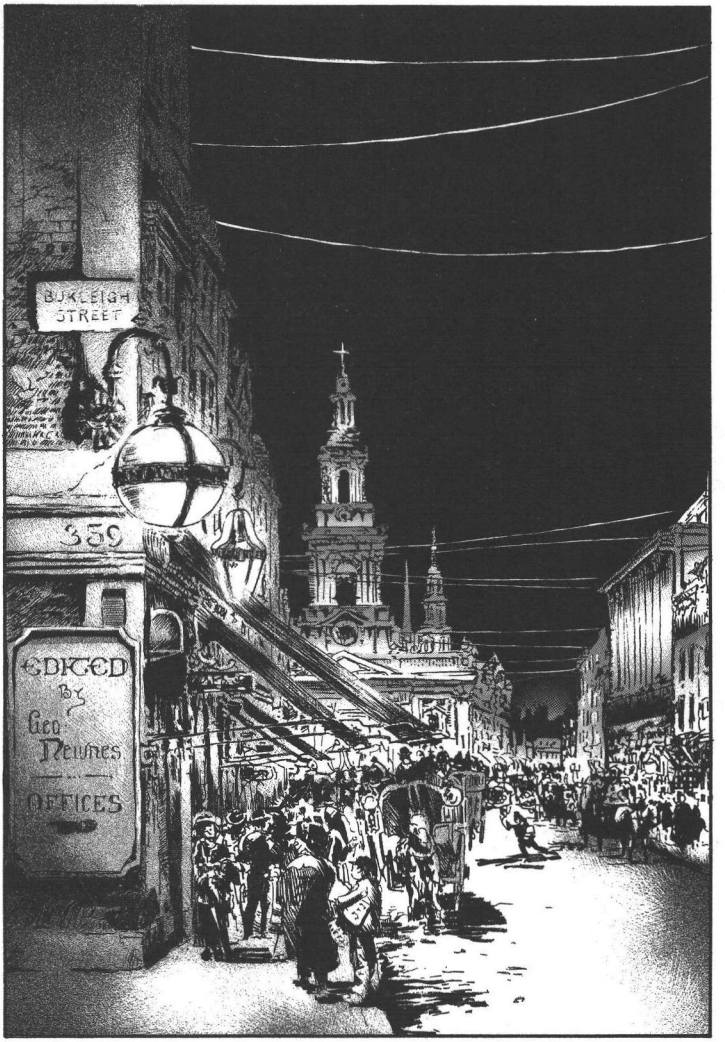



――こんばんは
メラスさん

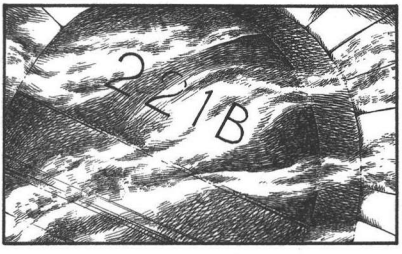

ホームズさん
何か
わかりましたか？
――ホームズ――

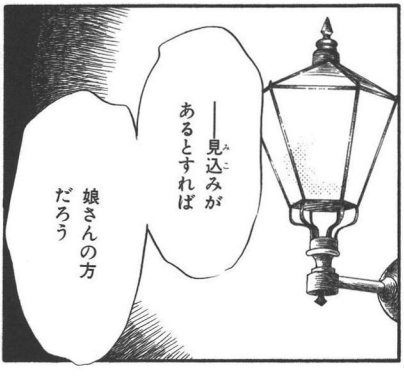

また
仕事をお願い
しますよ
ギリシャ語通訳(つうやく)
をね――

ギリシャ語通訳






221B


――見込みがあるとすれば
娘さんの方だろう


彼女がロンドンで足取りを残していれば――


……？
ガチ
おはいり！
シャーロック！
ワトスン博士も
どうぞ




どうやって
追い越したんです？
馬車でさ！
おまえたちが
電報局に寄ってる
あいだにね
兄さんも
探偵のやり方が
身についてきた
ようですね

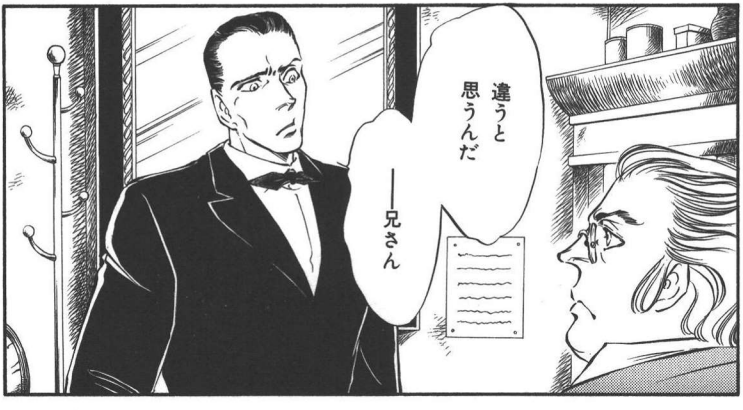

例の広告に
返事がきたよ


Jペンを使って――


『拝啓
本日付けの新聞広告を
拝見いたしました
ソフィ・クラティディズは
私のよく知る女性です
当方までご足労いただければ
彼女の痛ましい身の上について
お話しいたしましょう


おそらくは
虚弱体質の
中年男性が
書いたものでは
ないかな


彼女は現在
ベクナム区マートルズ邸に
住んでおります――』
差し出し人の住所は
下ブリクストンだ
どうだね
シャーロック
いますぐ話を
聞きに行こうじゃ
ないか？


違うと
思うんだ
――兄さん


妹の身の上話より
兄の命の方が
大切だ
ベクナムへ
直行すべきだよ
途中で
メラスさんも
ひろって行こう
通訳が
必要になるかも
しれないだろ？
見事だよ
ワトスン君！
ポン

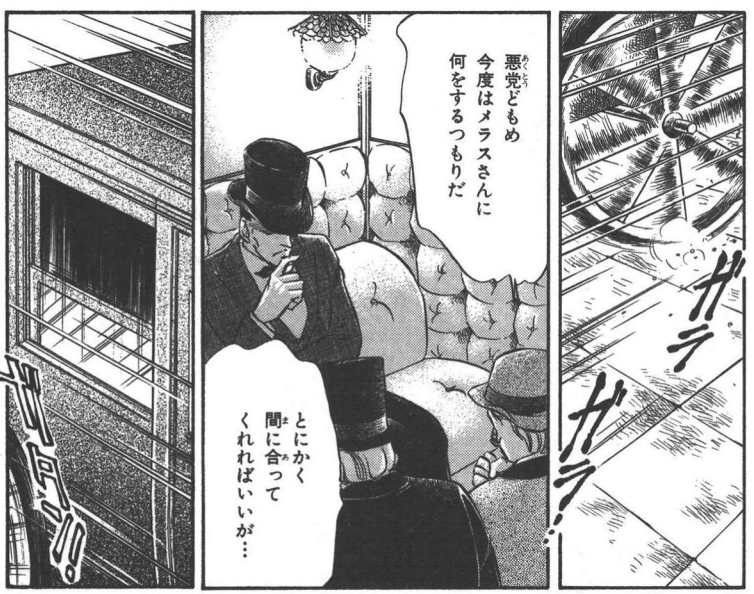



出かけた？
どこへ？
さあ……？
お迎えの紳士が
来られて――


……
その紳士は
背の高い
ハンサムな
若い男でしたか？


いいえ！


小柄で眼鏡をかけた……
でも とても愛想の良い方でしたよ?
急ごう!
奴らだ!!


悪党どもめ 今度はメラスさんに何をするつもりだ
とにかく間に合ってくれればいいが…
ガラ ガラ!
ヒュルルル!!


ロンドン警視庁（スコットランド・ヤード）へまわってくれ！
ホームズ!?
……
強制的に踏み込める権力が必要なのだ
グレグスン警部に同行を求めよう






「署名（サイン）しなさい」

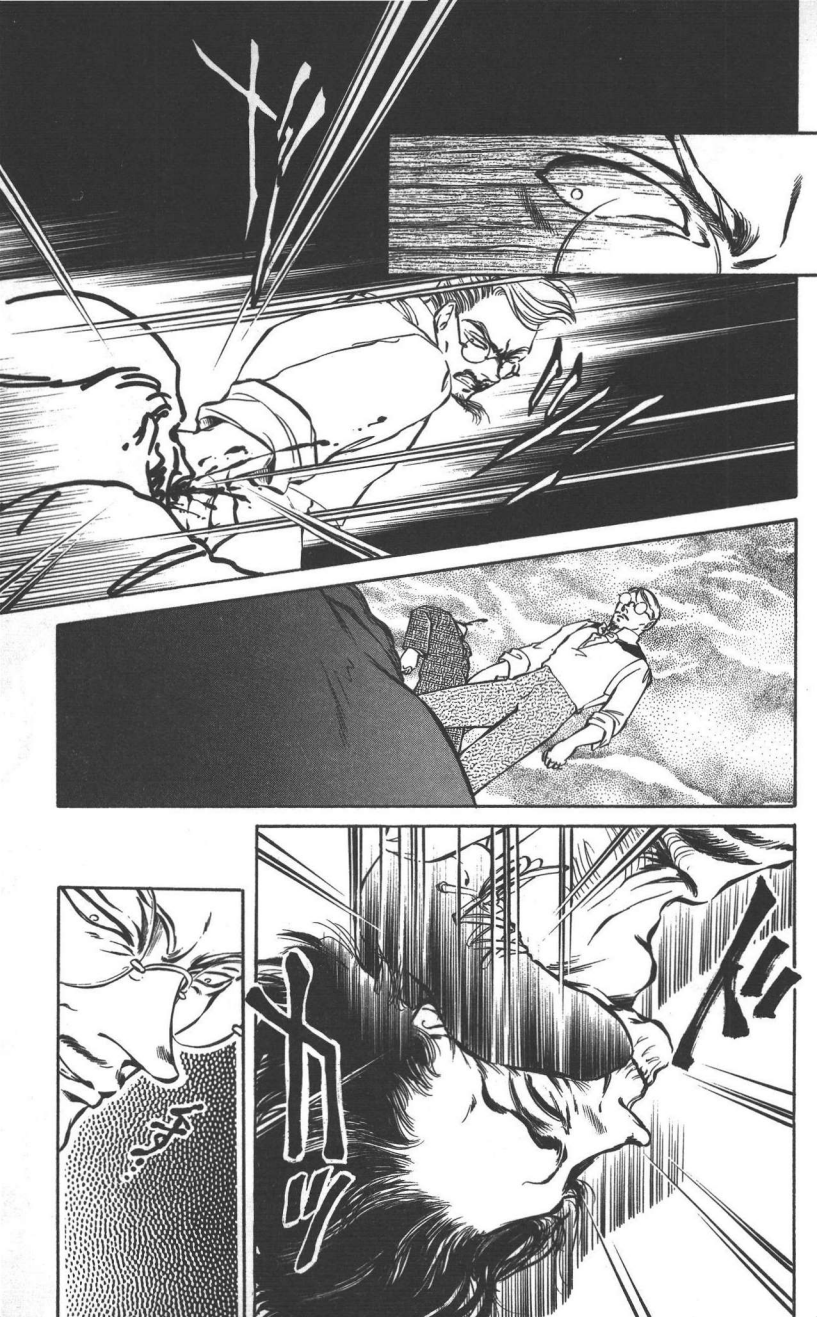

本当にこいつらは貴方（あなた）を殺しますよ？
ﾌﾌﾌﾌﾌ


聞くんだ！
もう1度!!


……いやだ……
…ぜったいに…
――
そうか
ハロルド
――どうしても
財産を渡さん
というのなら


もう
用はない
おまえにも
——おまえの妹にも

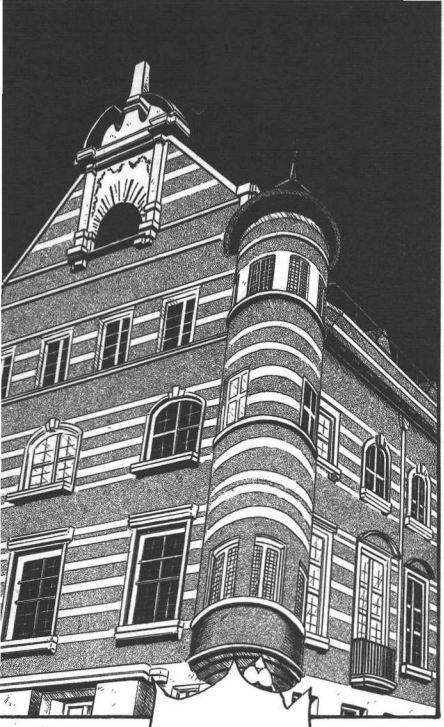





どうだ？
署名（サイン）する気になったか？
ソフィ？
どうしたんだい
灯（あか）りもつけないで


ハロルド
——私は
貴方を選んだわ
そのことを
決して
後悔しない


何があったのかは
聞かない
聞きたくは
ないわ
ただ――
私は貴方を
選んだの
兄さんよりも
そう――
僕もだよ
ソフィ



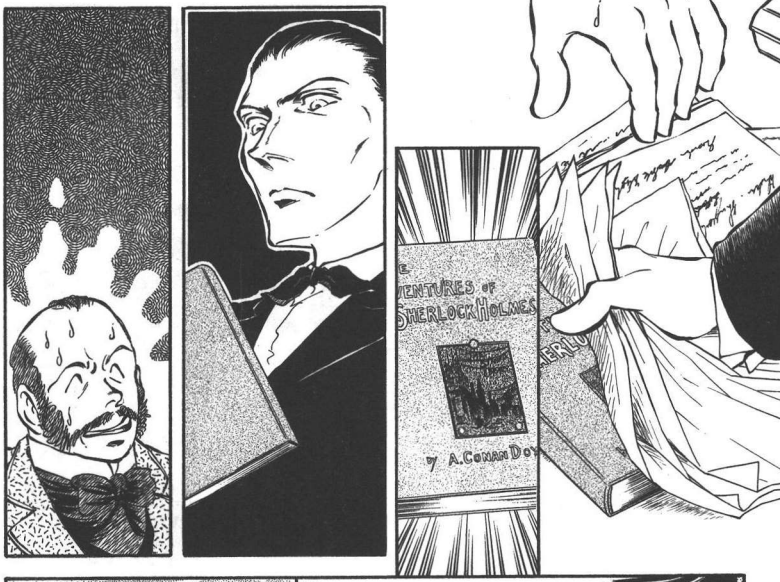

誰よりも
君を愛している――


どうして
ダメなんですか!?


犯罪が行われている
という
確たる証拠でも
あるんですか？


証拠が
出てからでは
遅すぎるのだよ
グレグスン警部
証拠がない限り
その悪党連中だって
りっぱなロンドン市民
ですからな
私の一存では
何とも——
——ならば


捜査令状に署名してくれる判事を捜してはどうかね
こんな時間にですか!?
できるだけのことはしてさしあげたいですけど…
協力してくださったこともあるし……
ちろり…
…そりゃあなたには今まで何度かその…





この本――
僕のささやかなる
功績をとりあげた
ワトスン君の記録が
実に好評らしくてね

出版社からの
依頼が
絶えないそうだ

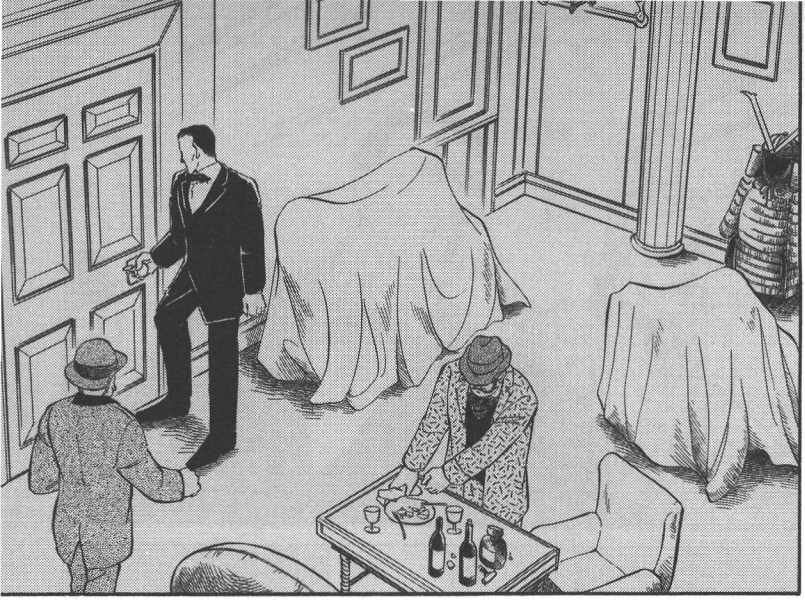

むろん
聡明なる
ワトスン君の
ことだから
警部との協力で
解決した
数々の事件について
書くことはないと
思うがね
！


…まあ
…判事を
捜してみますけど
……
それも
TALES of SHERLOCK HOLMES
A. CONAN DOYLE
今すぐに
――だ


ガラ
ガラ
1時間も
無駄にして
しまった
間に合って
くれればいいが…


――1時間以内に――
重い荷物を積んだ
馬車が
出ていったようだ


鳥は
飛び去ったあとだな
ハア
ン?
メラスさん!?
おおい!
メラス君!

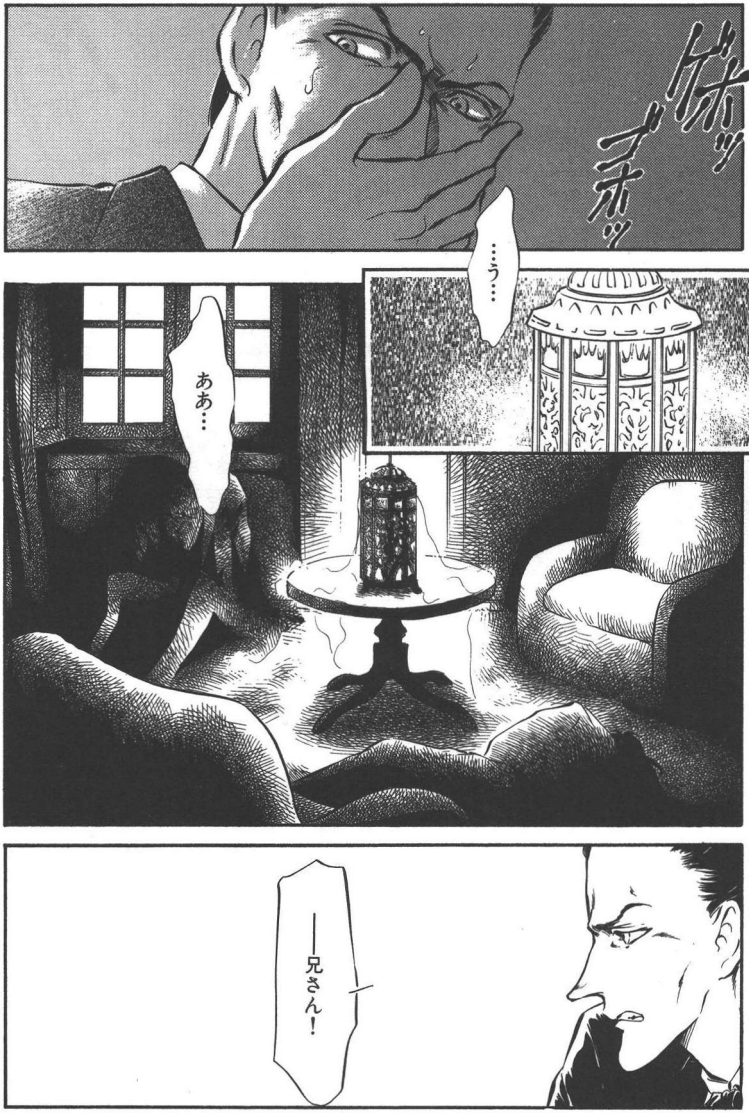



…ダメだ
やっぱり…

今――
何か――


あの声は――
階上(うえ)だ!!
こっちだ!
ここから――


いかんっ!!
!
…えっ
炭火だ
ゲホッ
ゲホッ
ゲホッ…

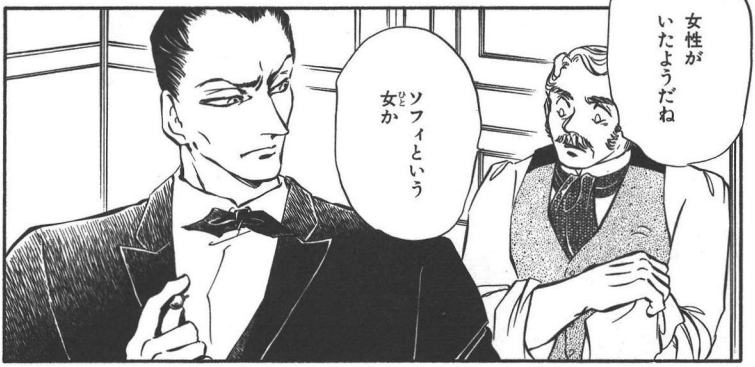

ゲホッ
ゴホッ
…う…
ああ…
――兄さん！


灯りを
かざしててください
警部！
手伝って
くれたまえ！
ホームズ!?
！

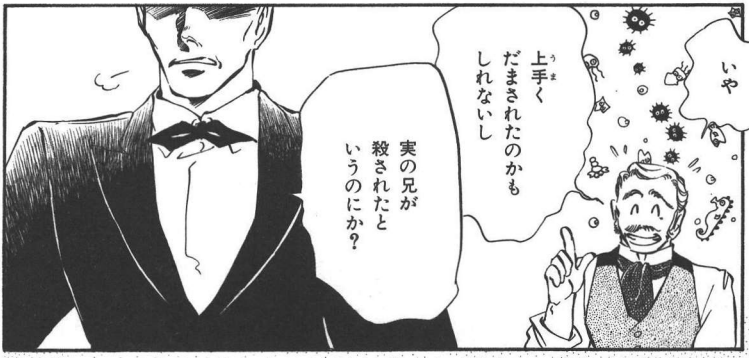

ホームズ！
――だから――


一刻を争うと
言ったのだ――
……ええ…
……う…
――いや
彼にはもはや
炭火も必要
なかったろう
そうだろう？
ワトスン君


メラスさん
しっかり！
大丈夫だ
こっちは
助かるぞ


女性がいたようだね
ソフィという女か


可哀想に
奴らに連れ去られてしまったのか
大丈夫だよ
警部がちゃんと手配してくれるさ
きっと捕まる
あわてた様子はないよ
強引に連れ去られたとは思えない





——以上が
「ギリシャ語通訳事件」の
あらましである

幸い メラス氏は
一命をとりとめたが
悪党どもの行方は
依然
わかっておらず


あの気の毒な婦人の行方もようとして知れない――
気の毒？
どこらへんがだね？
……
ワトスン君
君はまさかこの事件を公表する気じゃあるまいね？
こんな未解決の――
解決したじゃないか


人の心の問題は
他人が
解決できる事柄では
ないからね
しかし
あの悪党どもは——
いずれ
神の手が
裁きを下すさ


えぇ
非論理的な。


どうです？
お兄さんも
〝探偵〟に
その才能を
お使いになっては？
もう
充分だよ


私には
人の命の重さが
かかるような仕事は
むいていない

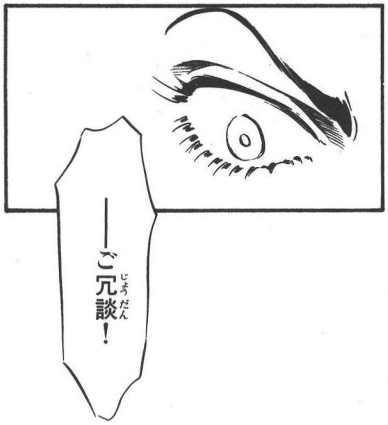

だからこそ
人の助けに
なれた時には
最高なのだ
ろうがね？


Knock
Knock


やあ
メラス君
もう すっかり
良いのかね?
ガヤ


ハロルド？
そろそろ――


――まさか
殺すのが
惜しくなったんじゃ
あるまいな？


――ご冗談！




次は
どうせだますなら
英国人(イギリス)の女に
しようぜ
異国(いこく)女は
しつこくって…
ウンザリだ
ボーッ!!


失礼
お荷物を――
おや？
こちら 3名様じゃ…
いいえ
ひとりです
私は
ひとりっきり――





おわり

…うひゃあ。もう何も言えません、ごめんなさい(^^;)です…。

原作のもつ雰囲気も、S.Hの格好良さも、ほとんど出せなかったように思います(;;) ああ、自己嫌悪。まあ最初から覚悟はしていたんですけどね。 … とりあえず"原作を読んでね!本当におもしろいんだから!!"…これだけは言っておかなくっちゃ、です。

最初は「曲がった男」に挑戦するハズだったのですが(女女マンガ"にしやすかろう、ということで)、結局「ギリシャ語通訳」になったのは… 何のことない、"兄ちゃん(マイクロフト、ホームズ)が描きたかったから"なだけなんです。 だって好きなんだもの。 マイクロフトもちろん大好きなんですが、兄上と相対しているときのS.Hが… 時々、珍しい反応をしてくれて楽しいのでした。 いやもう、本当にタダのミーハーですから、私(笑)。 有名なところ(「まだらの紐」とか「六つのナポレオン」とか…)を全部ハズしてほうあたりが、我ながら困ったもんだと思ってほう。 いや… トリックとかはそっちのほうがおもしろいんだろうけど、やっぱり"いやん、カワイイ。。(…オイ)なシーンがある話を選んでほったワケですね。 …だって、描いてて幸せなんだもの。

後半に入っている「ヨッシャー家の崩壊」は、3年ほど前にハロウィンでやらせて頂いたもの。原作が短編で、しかも観念的な話ですから、好き勝手にヨレンジしてしまいました。 いや、本人としては、結構気に入っていたので(お暗なかった)、今回やっと単行本入れて幸せです。

…では、はやく次のジェレミーブレットのS.Hを見たいなー、と念じつつ…

ここら辺で。

1994. Feb. JET 桂.

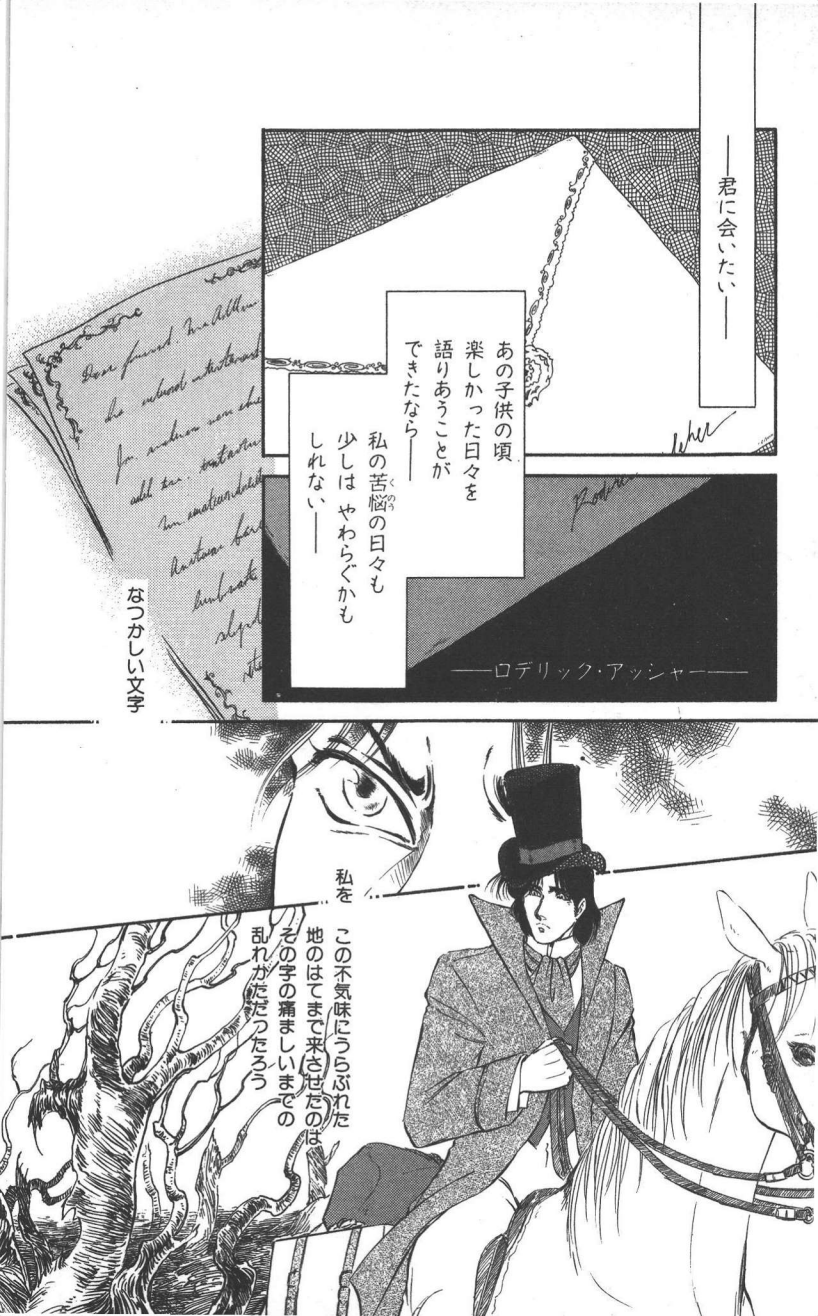

崩壊
ほう
かい



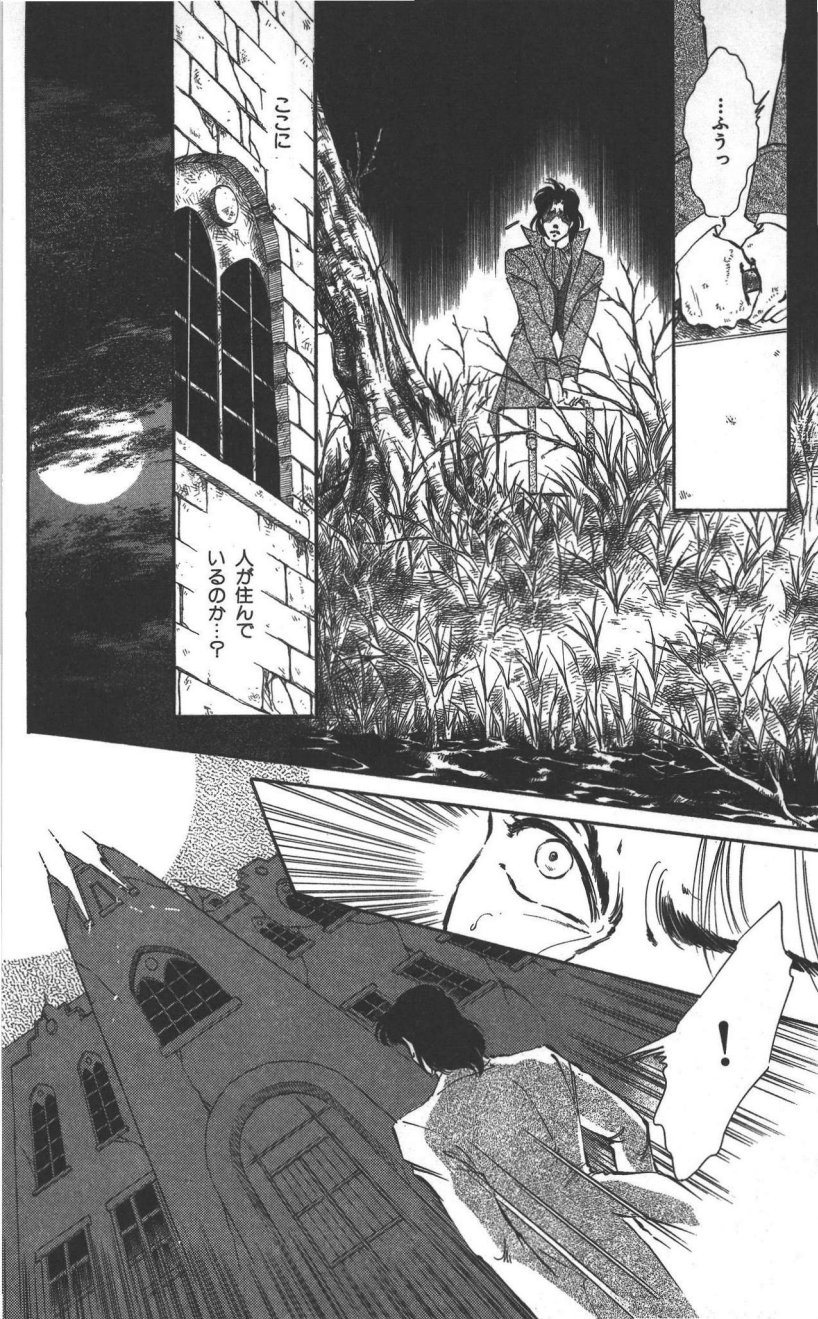
エドガー・アラン・ポオ原作

アッシャー家の


ガバッ!
アラン坊ちゃま
——何を——!?
旅行に出る!
は?
父君の許へ
お帰りにならないので?
だ〜れがあんな所
——きっかけは一通の手紙だった


——君に会いたい——
あの子供の頃
楽しかった日々を
語りあうことが
できたなら——
私の苦悩の日々も
少しは やわらぐかも
しれない——
——ロデリック・アッシャー——
なつかしい文字
私を
この不気味にうらぶれた
地のはてまで来させたのは
その字の痛ましいまでの
乱れがただったろう


その彼方のアッシャー家でどんな恐ろしいことが待ち受けるかも知らずに――


…ふうっ
ここに
人が住んで
いるのか…？
！


亀裂!?
馬鹿な
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ


リーウッ
…？
ロデリックの奴――!!
こんな所にいるからおかしくなるんだ
ひっぱり出してやる!


うわ…
アラン様？
あ…
はい
ようこそ
当家執事の
サディアスと
申します
…こんな時間に
すみません
馬が…
逃げてしまって
歩いて来たもの
ですから
でしょうな
は？
必要な時には
馬車をお呼び
しますゆえ——


絨毯の上を
お歩きください
足音をおたてに
なりませんよう
ロデリック様
――アラン？

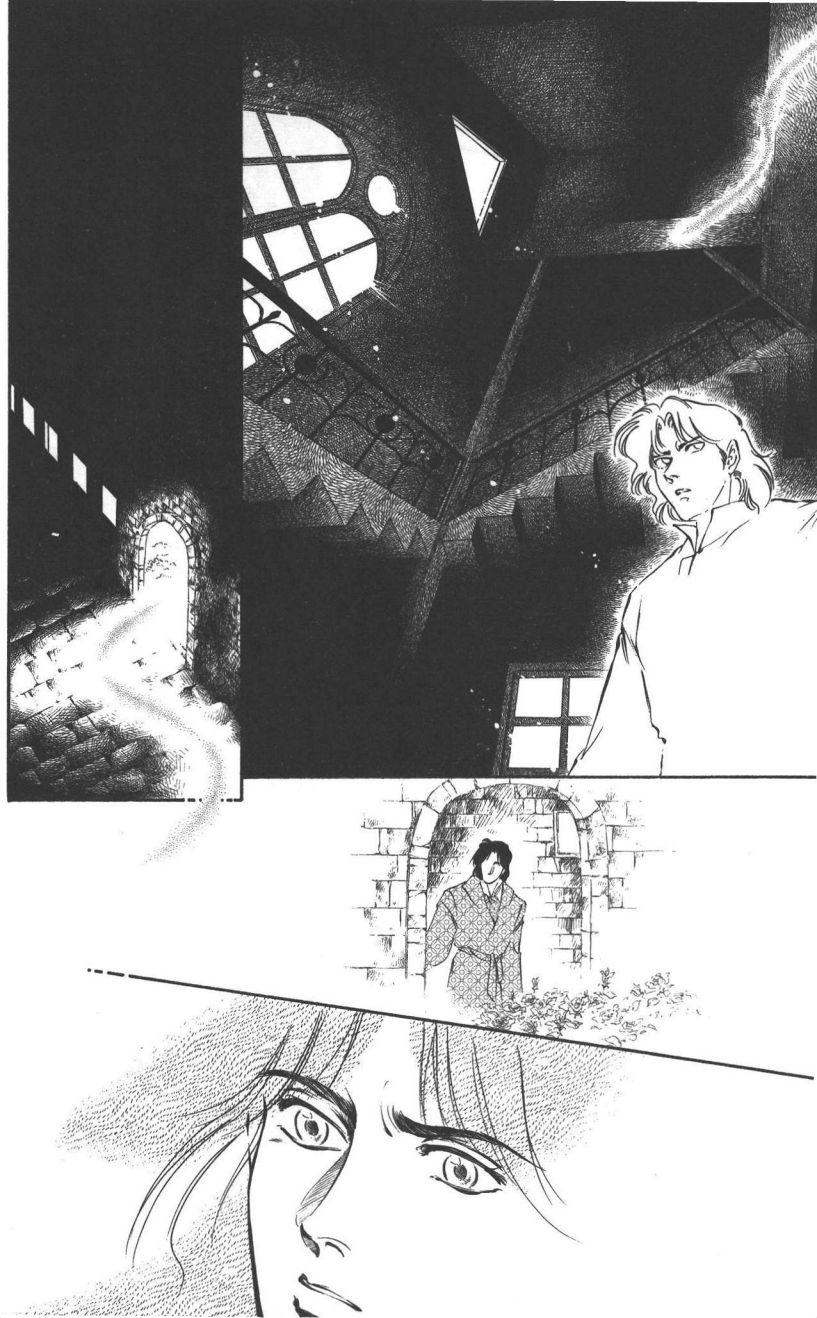

…来てくれたんだね……
…ロデリック……??
…そんなに…変わったかな……
いや……うん
――病気なのか?


…しかたないんだ
アッシャー家のものはみな……こうなる
わずかな光にも目が痛み
大きな音には恐怖すら覚える
衣服も――絹以外は肌をさし
花の香りさえ息苦しい
――味気のない食物しか受けつけない


ありとあらゆる
感覚が……
痛みをともなう
…そんな
…昔は
そんな——
子供の頃から
兆候はあった
だが あの頃は
まだ知らなかった
からな
この身の
呪わしい運命
を——
そんな弱気なこと
ばかり言ってる
から——


…あ
すまない
…いいんだ
もう——
こうして君に
会えただけで
ずい分 気分が
いいんだ
どうか——
思いださせてくれ
あの楽しかった
頃を——


…人が
あんなに変わる
ものだろうか？
…すべては
この陰鬱な
家のせいなのか
…唄声…？





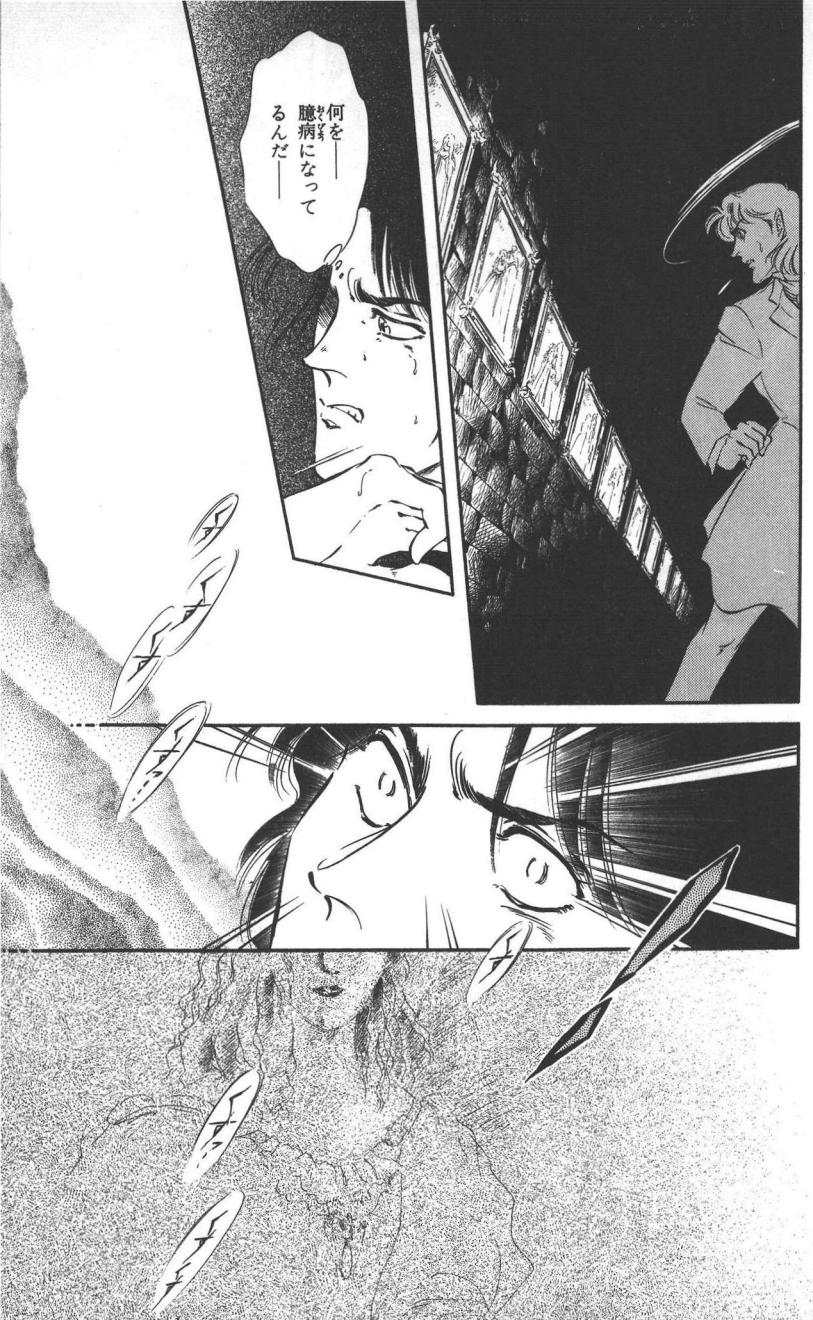

――そうだ
ロデリックには
双子の妹が
いたじゃないか
どうして今まで
忘れて――
え？
――この花は――!?


…マデライン…？
――さよう
この薔薇は
立ち枯れた残骸に
すぎません
生きとし生けるものは
全て――この家では
こうなりますゆえ
…ロデリックは…？

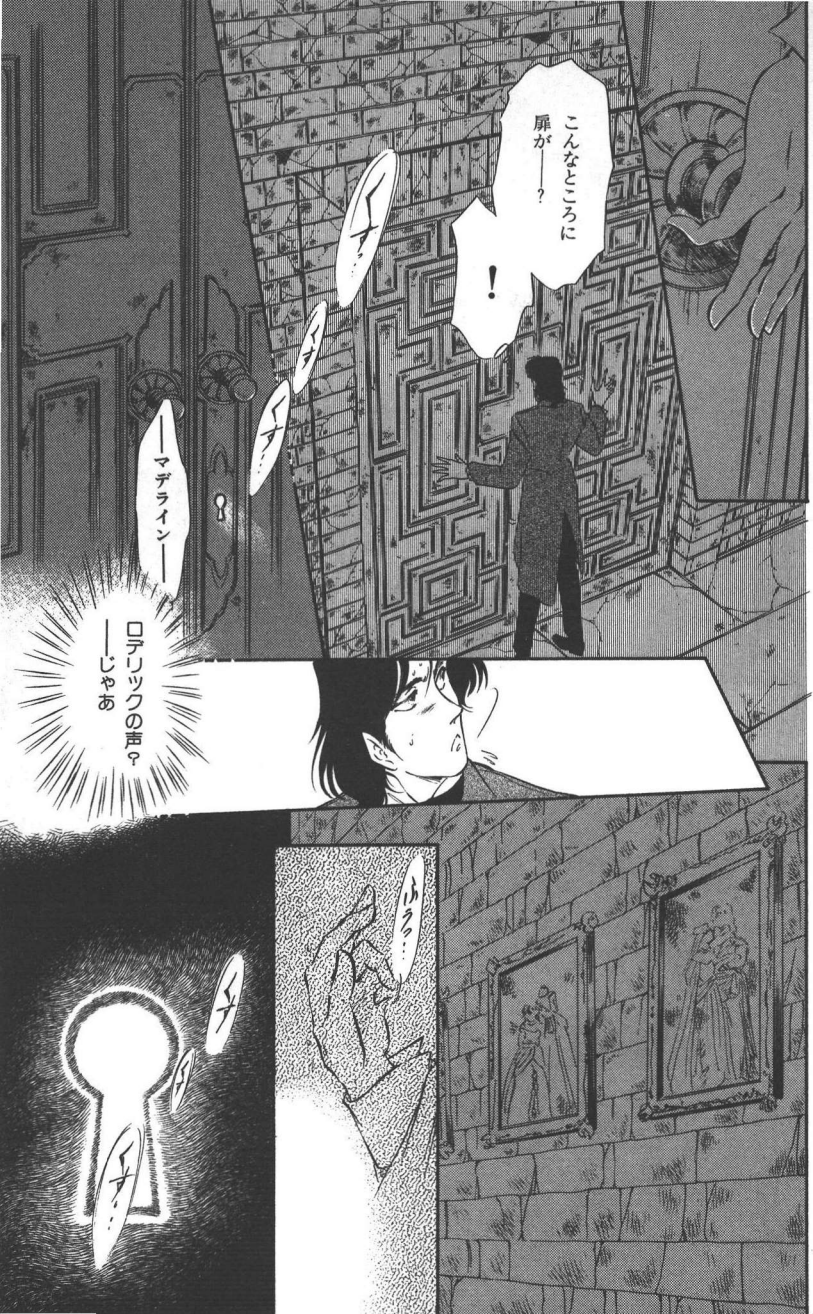

昼間の光は
お身体に毒
ですので
もうじき
おでましに
なりましょう
アッシャー家代々の
肖像画で
ございます
…そっくりじゃ
ないか……


当然で
ございましょう
アッシャー家の一族は
直系のみ——
一子相伝のご血筋
ですゆえ
それにしても——
まるで
同一人物の
肖像画だ
——え？


…ドアの閉まった音……？


何を——
臆病になってるんだ——


う…
わ…
あ…
！


こんなところに
扉が――？
！
イヤ…
イヤ…
イヤ…
――マデライン――
ロデリックの声？
――じゃあ
ゆら…
イヤ
イヤ
イヤ…



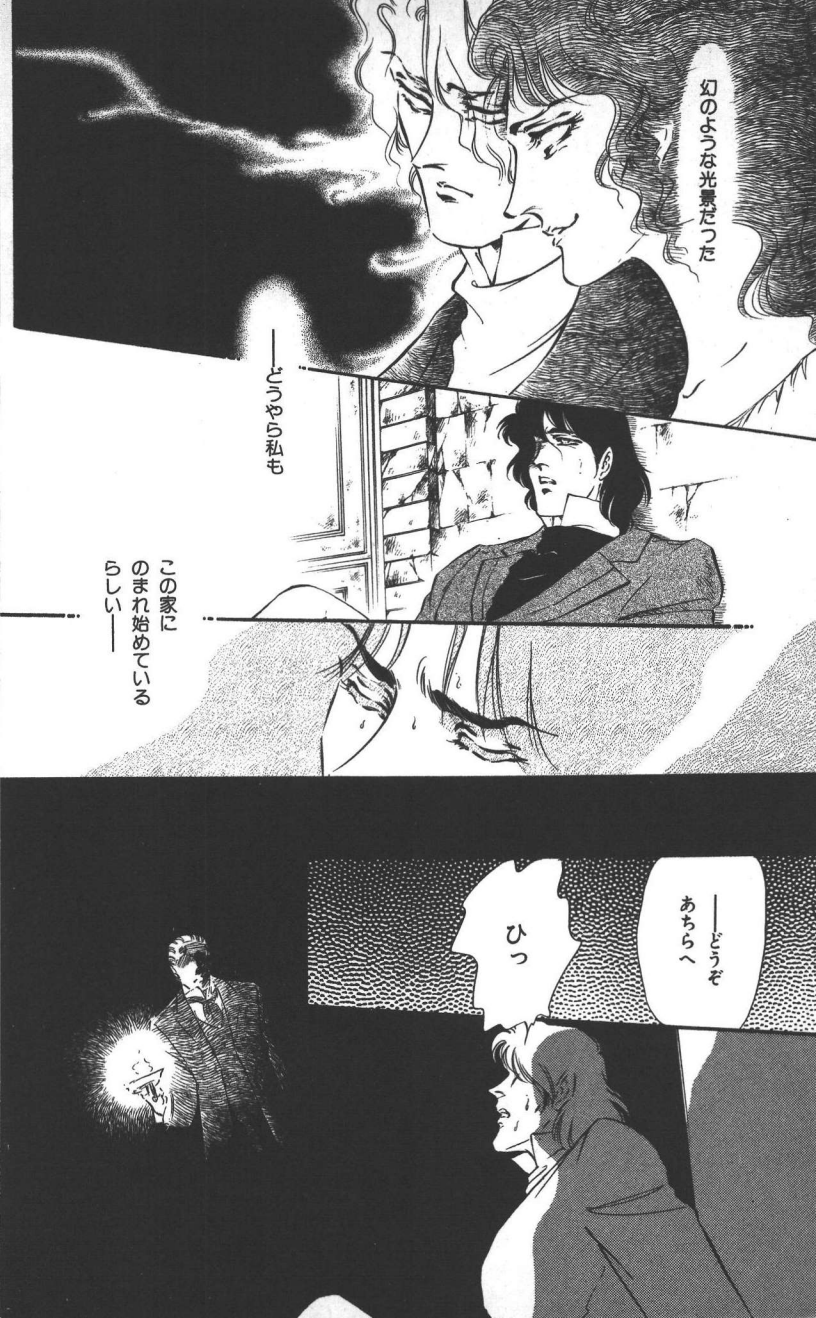

何なんだ
あの兄妹(ふたり)は!?
――マデライン?


……
ギィ
マデライン
――どこへ？








幻のような光景だった
——どうやら私も
この家に
のまれ始めている
らしい——
——どうぞ
あちらへ
ひっ


お食事の用意が
できておりますので
……
…すまなかった
かくすつもりは
なかったんだが

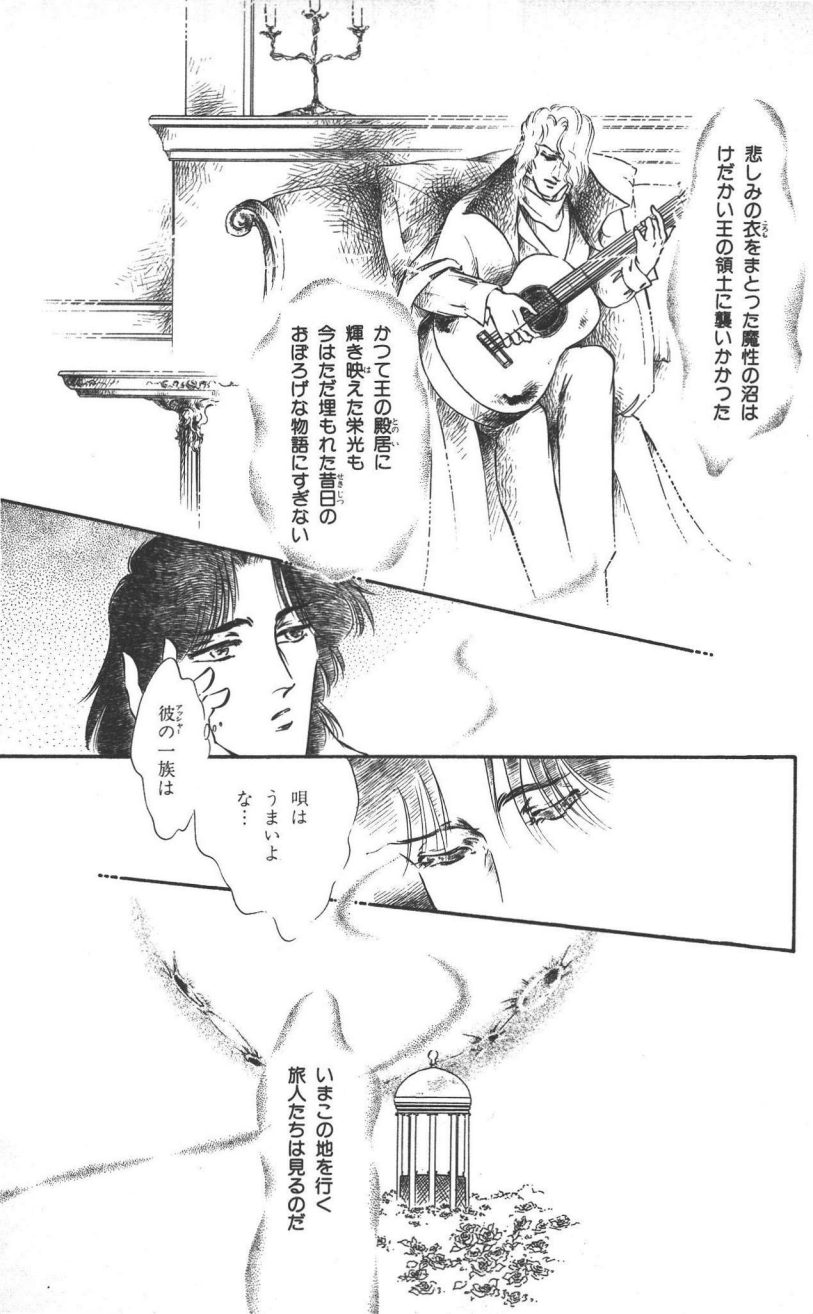

……その
彼女も…
病気なのか？
…私と同じ…
だが はるかに
進行している
…感覚は
ほとんどなくなり
肉体も衰弱
しきっている
発作のときには
歩きまわったり
もするが…
あれが
死ねば
私は
アッシャー家の
最後のひとり
となる……


——彼の苦悩と
耐えてきた月日の
重さを——
その時 私は
理解した
つもりでいた
それが どんなに
薄っぺらな同情で
あったかも知らず——


弦楽器の音色は平気なんだ
旋律によっては
父に教わった唯一のものでもあるし
この詩は——


マデライン姫の唄っていた――
〝魔王の宮殿〟
……古の叙情詩(バラッド)だ
この呪わしき
アッシャー家の
礎(いしずえ)を創った
ひとりの王の物語――
――詩は伝える
この地が
緑深き神の地で
あった頃の
王の栄光を
そびえたつ
麗(うるわ)しい宮殿が
いかに精霊たちの
祝福を受けていたかを


そんな王が
何故(なぜ)――?
愛する者を――
失ったからだ
王(かれ)は神を呪い
地の精霊を憎み
ついには邪悪なものの
甘言(かんげん)を受け入れた
それ以来
この地に
明日という日は
訪れはしない……


悲しみの衣をまとった魔性の沼は
けだかい王の領土に襲いかかった
かつて王の殿居に
輝き映えた栄光も
今はただ埋もれた昔日の
おぼろげな物語にすぎない
彼の一族は
唄は
うまいよ
な…
いまこの地を行く
旅人たちは見るのだ


狂い乱れた楽の調べに合わせ
大いなる物影の
あやしく動きまわるさまを——


なっ…！
ガ
ばっ


――夢――!?
なんて夢を――
あ…
すまない
気持ちよく
聞いているうちに
…眠ってしまっ…


つ…疲れているのかな
…そうだね
もう——
休みたまえ
——寝言なんか言わなかったろうな——


…どういう
つもりだ…？
――契約は
生きております
ゆえ――
アッシャー家は
滅びませぬ


許さんっ
…お…


…頼む…
…もう――
アランを
まきこむな
…このまま――
還らせてくれ――
…私には
何の力も
ございません


私の役目は
〝見届ける〟こと
だけでございます
ゴポ
ゴポ
イヤ
イヤ
イヤ
ちくしょう――
――最低だ！


！
——気に病み
すぎているのか

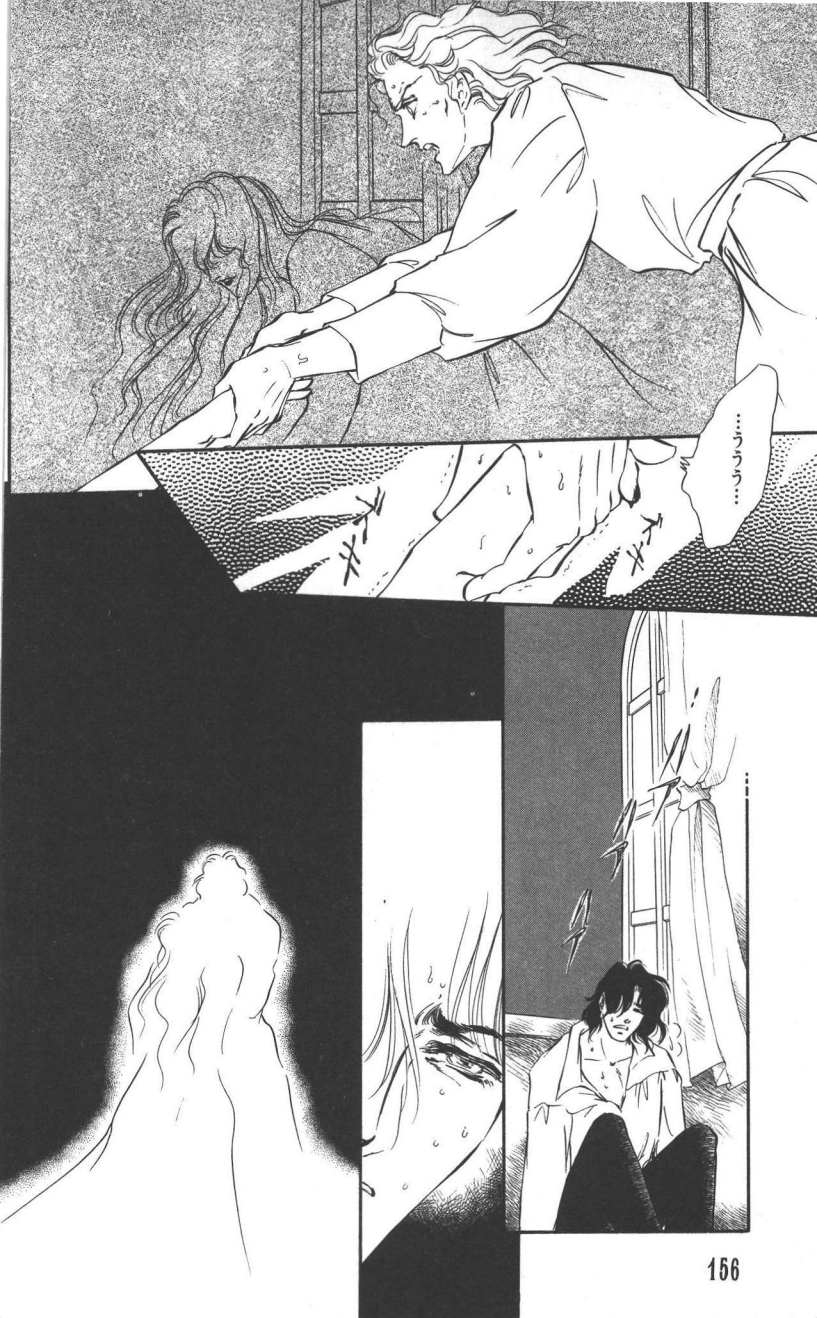

…いやな色だ
この家が変なのも
あの沼の瘴気の
せいかもな…
ゴポ
ゴポ…




な…
なにを…
…どうして？
私を愛して
くださらないの
お兄さま――
やめろ
やめてくれ


…お兄さま

…うれしい
くうっ
——マデライン!?
！


……ううう……


この〝女〟め…
おまえ…
…
やめろォ…


ううっ
…帰ってくれ…
帰れ――
たのむから


……わかった
な…
何もこんな
夜中に…
!
出てけと言った
のは君だろう!?
…す すまない
朝になってから
いいじゃないか…
せめて…
今夜一晩くらい……


彼女についてなくていいのか？
…君にももうわかったろう
…私がそばにいてはいけないんだ
……
フッ…


ロデリック
この家を出るべきだ
…こんな寂しい土地に友達もなく暮して——
しかもあきらかにこの家の雰囲気は異常だ
こんな家に…その妹とふたりだから——おかしなことになるんだ
しかたないんだよ
私はアッシャー家の人間だから——


それがいったい…
あの肖像画を見たろう
私とマデラインは
双子の兄と妹の間に生まれた子供なんだ
……え？
私の両親も
——そのまた両親もだ
繰り返し　繰り返し

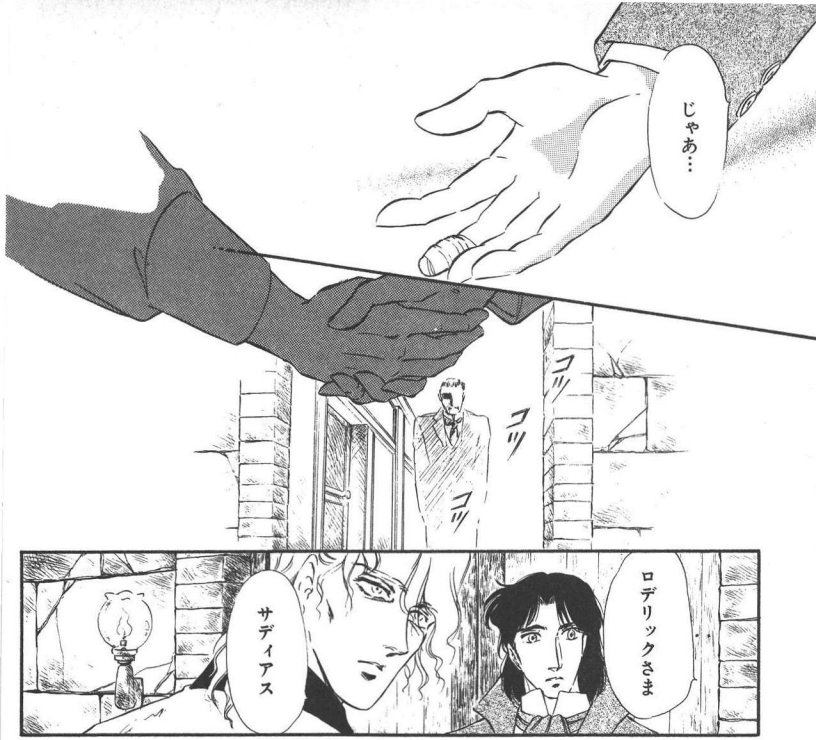

アッシャー家には
他人の血は一滴も
入っていない——
私も何度夢に
見たことだろう
あれを…
実の妹を
この手に妻として
いだくことを
その——
あさましい姿を


…でも
もう大丈夫
大丈夫なんだよ
…ええ？
私にはできないのさ
――ホラ　この手で…
私はもう――


ざまを見るがいい
アッシャー家の
亡霊どもめ！
魔王の遺恨よ
去るがいい！
もう　この家は
おしまいだ
我々は地に
還るのだ
私もマデラインも
長くは保たん
やっと――


救われるのだ——
——それから一晩中
私たちは
語りあっていた
昔語りを
彼(ヤツ)がまだ
物静(ものしず)かで印象的な
少年だった頃の
話を——
それ以外
どんななぐさめの言葉が
あったというのだろう——


ここでいいよ
外の光は
目につらいんだろう?
…本当に
すまなかった…
いいさ
そのうち
また——


じゃあ…
コツ
コツ
コツ

ロデリックさま
サディアス

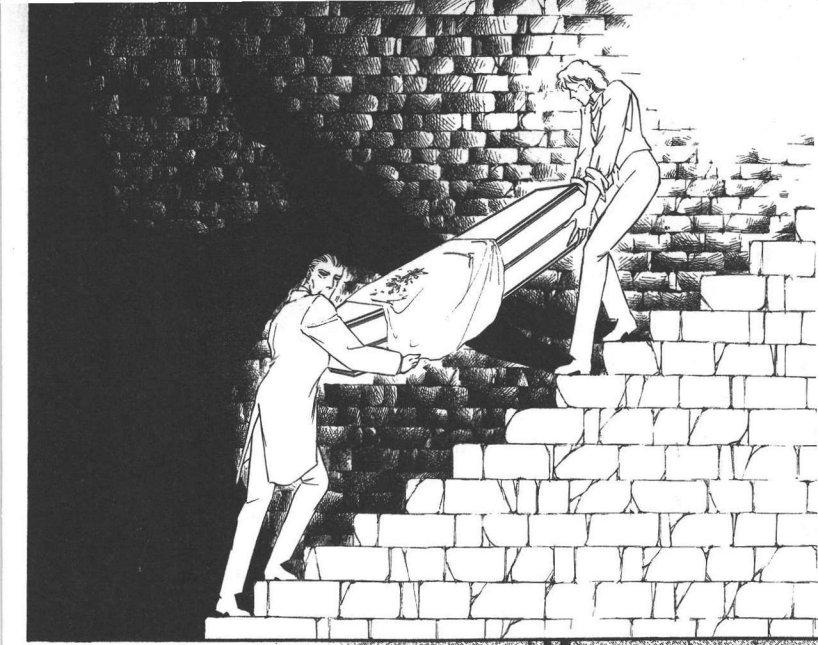

マデライン様が
お亡くなりに
なりました

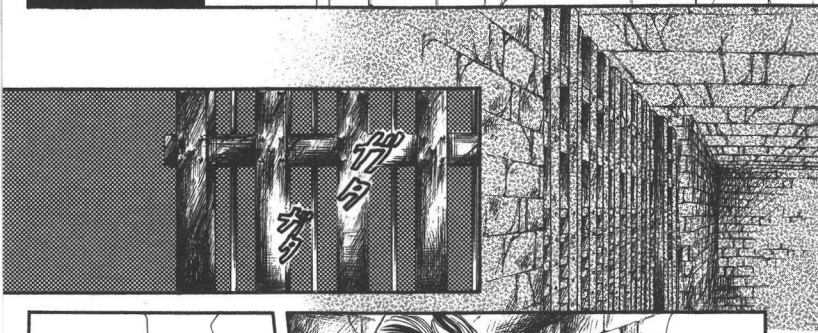

たった今——
発作をおこされて


アラン様――

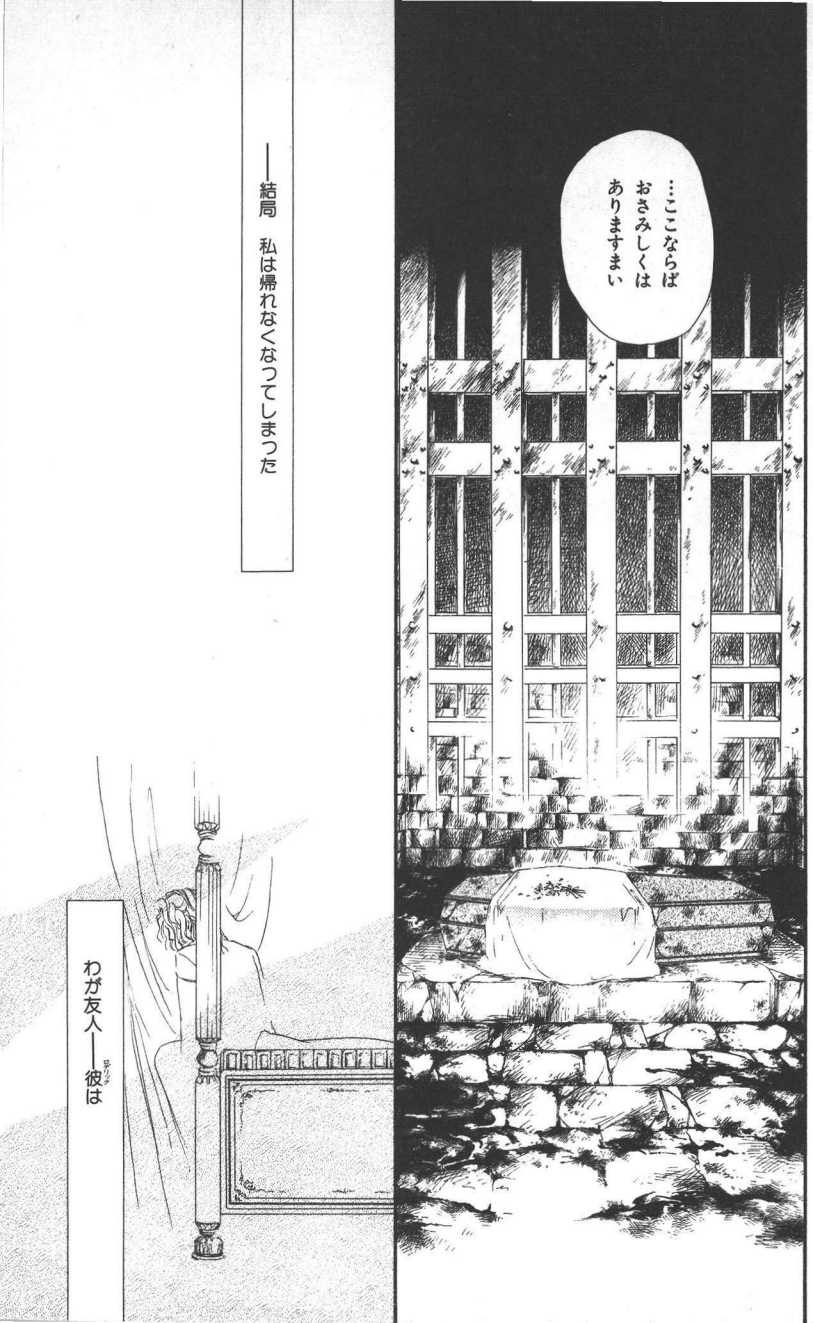

ご遺体の仮埋葬をお手伝い願えませんでしょうか？
——まことに心苦しいのですが
わかった
どこへ埋葬するって？
この——
マデライン様のお部屋の地下に穴ぐらがございます
ゴゴゴ
アッシャー家の墓所はあまりに遠おございますので——


ブイ
ブイ
……あ……
ロデリック？




ガタ
ガタ


えらく頑丈な造りだね…
ここは何？
地下牢のあとでございます
……
拷問部屋よりはよろしいかと思いまして…


…ここならば
おさみしくは
ありますまい
――結局　私は帰れなくなってしまった
わが友人――彼は（ヨハン）



そして　あの
悲しみの日から
十日が過ぎようと
した頃――


あの恐ろしくも忌まわしい
――破滅の夜が訪れた――
ゴーン
ゴーン
ロデリック
何か食べなきゃダメだ
さもないと――

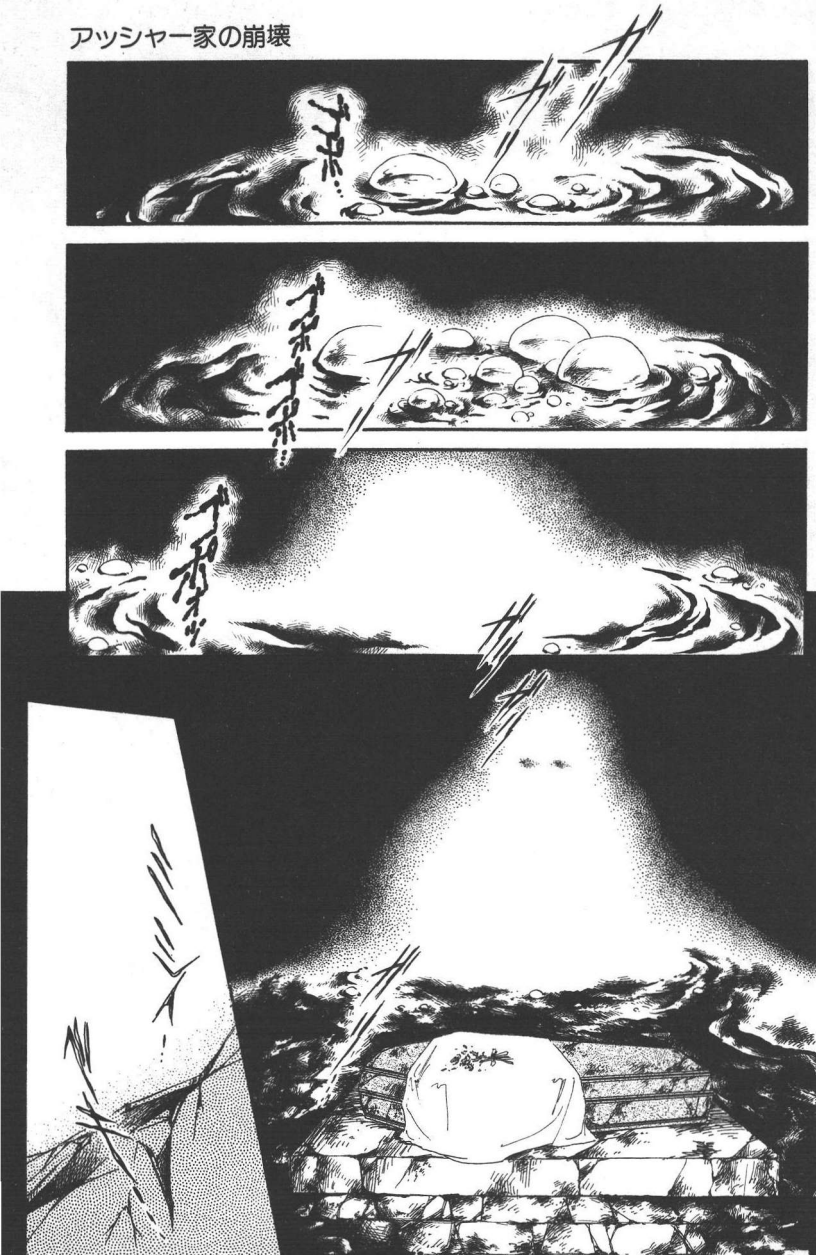

…君には
聞こえないのか
あの声が
あの亡霊どもの
叫ぶ声が——


落ち着け！
あれは
荒野をわたる
風の音だよ
では——
あれは？
あの様を——
死者たちの魂が
水底から
さまよい出るのが
見えないと
いうのか——
ボッ

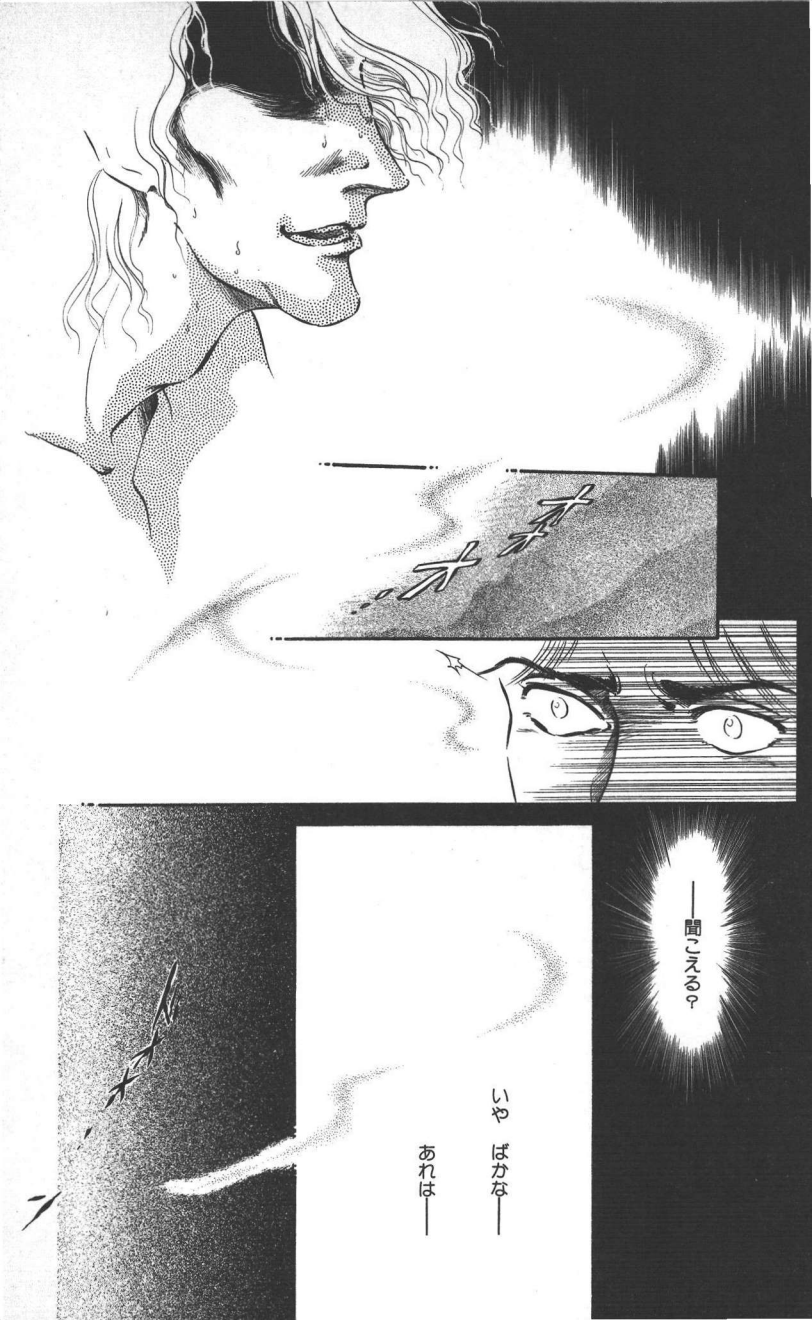

水底の沼気(ガス)が
発光しているだけだ！
落ちつけロデリック――
…マデラインが呼んでいる
呼ぶのだ私を


魔王の命じるまま
〝命を伝えよ〟と――

アッシャー家の崩壊




これは――
〝魔王の宮殿〟――


オオ
――聞こえる？
いや　ばかな――
あれは――


もはや
疑うすべはなかった！
もうひとつの声は
次第に大きくなり
ロデリックと
からみあい調和し


そして――
ドオオオン
…あれが
あれが聞こえないって?
…私には
聞こえてた
昨日もその前も
――ずっとだ!


言ったろう？
私の感覚は鋭敏だと
私には妹があのうつろな棺の中で最初にもらしたかすかな吐息も聞こえてたさ
ガサッ
——だが　私には勇気がなかった…
…彼女は……生き返ったのか？
…た……助けないと


…どうしても
言えなかった
ことがある…
魔王の
本当の願いを…
王の子供は
死産だった
……え？


双子の子供は
この世に
産まれることに
耐えられず
后(きさき)もまた死んだ
――王は
契約を交(か)わした
自らの魂と
ひきかえに
〝子供たちに
命を――
身体(からだ)を〟
――と
その願いは
かなえられた
……
わからないか？


その後の代々の
アッシャー家の者たちは
死人の子孫なんだ
私も…
この私も
生ける屍体(しかばね)に
すぎん――!


…なに…
何を馬鹿なことを言ってるんだ
ほら！
こうして暖かいし心臓の鼓動だって——
!?
繰り返し　繰り返し…
アッシャーの双子は次の世に送り出しているのさ
自分と全く同じ屍体を——


――私はこの身で
終わらせようと思った
ただ――
還る前に
一度だけ
君に会いたかった
こんな私でも
光の中で生きた
人生が
あったのだと――
だが――
まちがいだった
王の妄執は
生き続けている

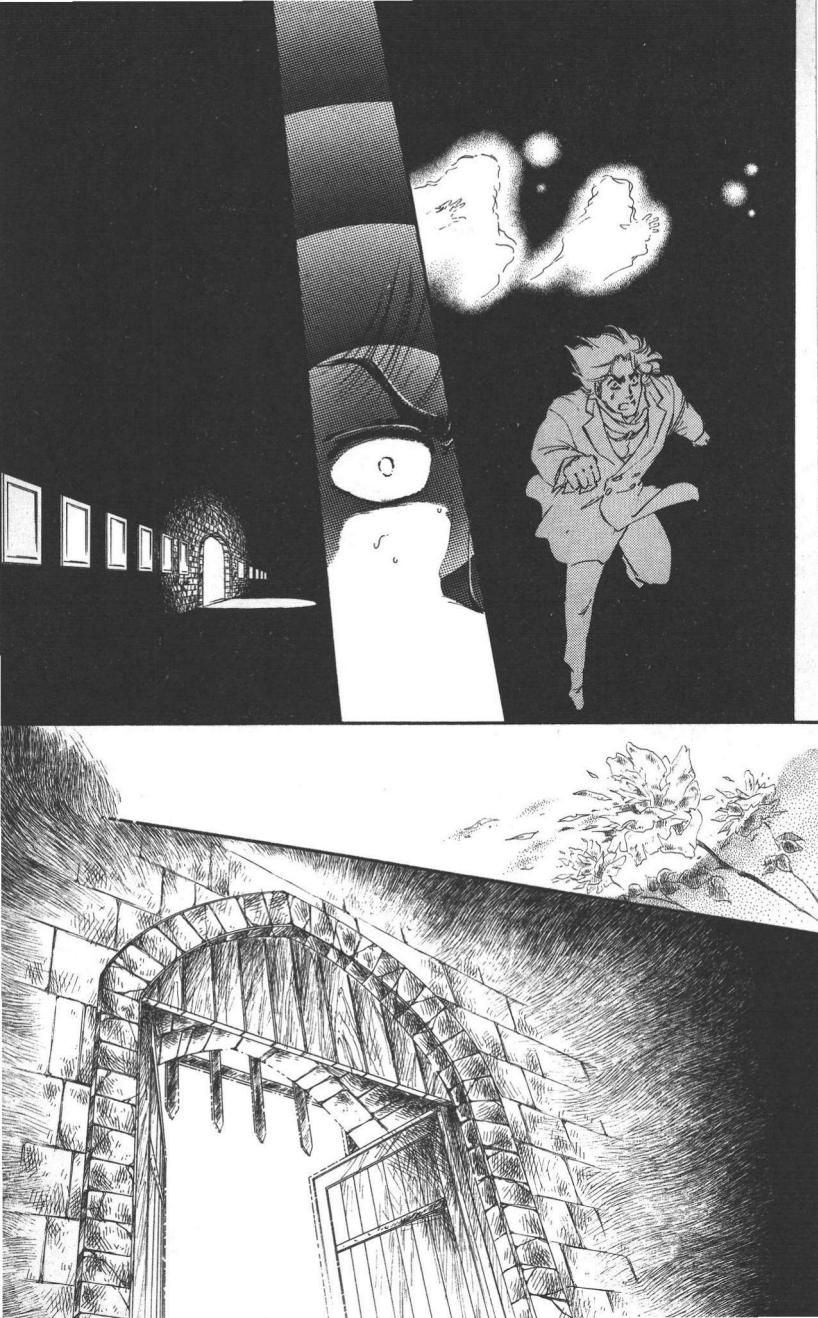

マデラインに
次の屍体を
生ませるため
私のかわりに
君を——






…今こそ
想いをはたそう…

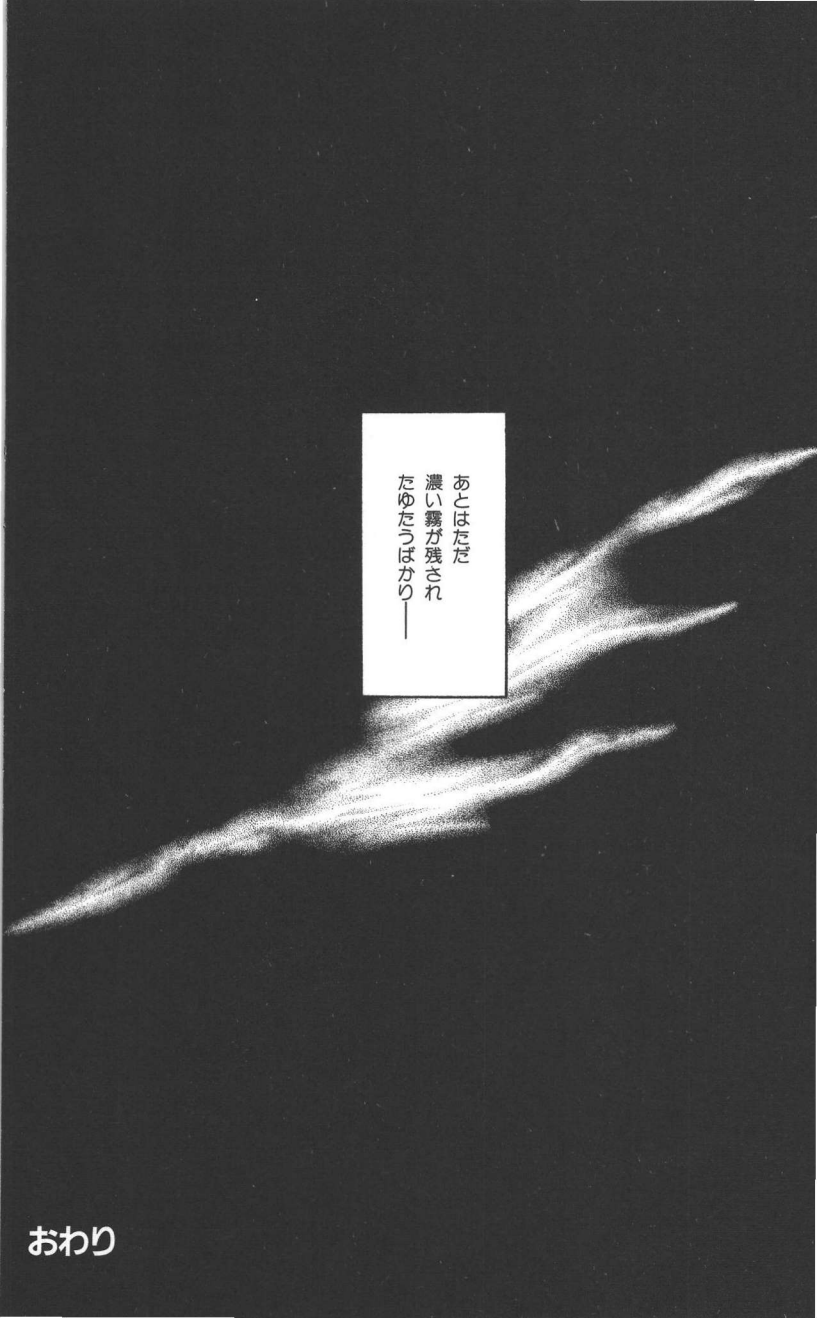

…我が生涯で　ただひとり
愛する女とともに…
――還ろう





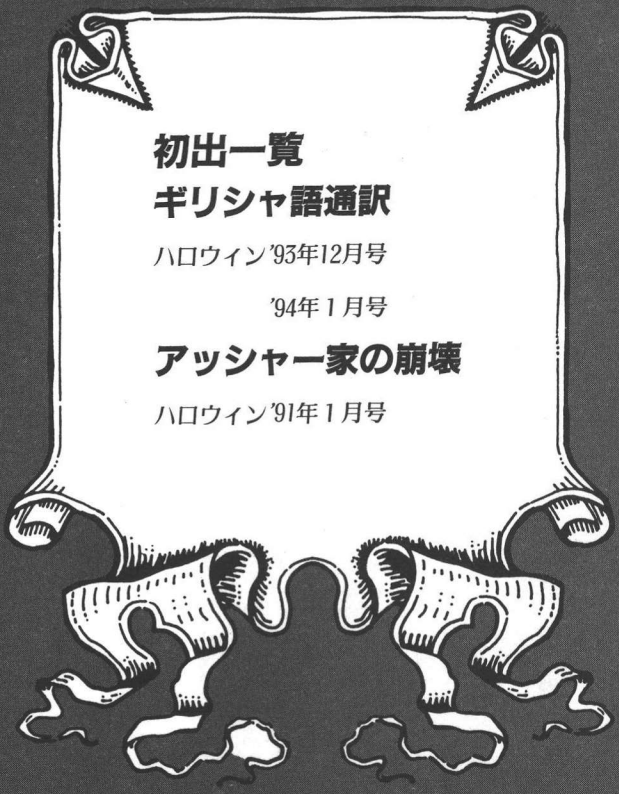
契約終了の由
確かにお見届けいたしました


――そして
私の目の前で
黒く よどんだ沼は
「アッシャー家」の残骸を
音もなく飲みこんでゆき



おわり





初出一覧

ギリシャ語通訳

ハロウィン'93年12月号

'94年1月号

アッシャー家の崩壊

ハロウィン'91年1月号

ハロウィン少女コミック館

シャーロック・ホームズの冒険②
ギリシャ語通訳

平成6年4月20日　第1刷発行

著者●JET
©JET

発行人●広橋 敏栄
発行所●株式会社朝日ソノラマ
郵便番号　104
東京都中央区銀座4丁目2番6号
第2朝日ビル
TEL.03(3563)6021〈営業〉
03(3563)6024〈編集〉
振替　東京2－40311
印刷●フォト印刷株式会社
製本●光和製本株式会社

Printed in Japan

★落丁、乱丁がありましたらおとりかえします。
ISBN4-257-98530-5


19世紀末の倫敦を舞台に狼男のホームズと
吸血鬼のワトソンが活躍する好評シリーズ
倫敦魔魅街①～⑧

JET既刊本


ブラム・ストーカー原
作の小説を完全マンガ
化！　ミュージカルで
話題になった「オペラ
座の怪人」も収録!!
吸血鬼ドラキュラ



デカタンの香り漂う魔都東京に起こる奇妙で怪奇な事件を描いたJETの代表作!!

綺譚倶楽部①～③

朝日ソノラマ　ハロウィン少女コミック館

定価 390円～400円



現代日本に潜む闇の世界を描いた作品集。デビュー作も収録!!

逢魔が辻

ハロウィン少女コミック館

新書判　定価390〜400円

楳図かずお
楳図かずおの呪い映像
蝶の墓
偶然を呼ぶ手紙
闇のアルバム
笑い仮面〈前〉
笑い仮面〈後〉
ヘビおばさん
復讐鬼人
残酷の一夜
おそれ
ふりそで小町捕物控
木の肌花よめ
紅グモ
うろこの顔
半魚人
成毛厚子
水喪祭（みなものまつり）
つのだじろう
新説百物語①〜⑤
恐怖体験談集
ほんとにあった怖い話①〜⑭
ほんとにあった秘境編①〜⑦
ほんとにあった怖い話
チャネリング体験記①〜③
マンガ家恐怖体験談集①〜③

まつざきあけみ
夜光華
黄金海流
迷宮城
犬姫御殿
闇のアルバム
逢魔が時
十夜
敵手
ふりむいた男
真夜中の子供
醜い人
魍魎狩り
真夜中遊戯
踊る死仮面
篠原烏童
妖獣の門
眩惑の摩天楼①〜⑤
純白の血①〜④
借りてきた左手
波に花影月に刃
不法救世主①〜③
—イリーガル・メサイア—
J・E・T
倫敦魔魍街①〜⑧
吸血鬼トラキュラ綺譚倶楽部①〜③
ぶなの木立ち

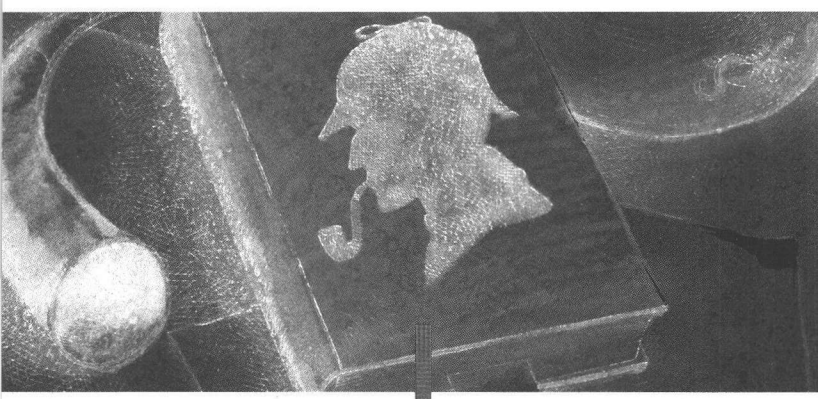
うつき鳥子
異界庭園
秋津島①〜⑥
伊藤潤二
屋根裏の長い髪
地下室
敷屋
脱走兵のいる家
首のない彫刻
楽しい夏休み
路地裏
布製教師
うめく排水管
山本まゆり
部屋の隅の白い影
霊界への道標
葬られた霊域
死の誘惑
供養の報酬
三つの呪縛
星になった少年
国東利夢
恐怖進行形
ひとみ翔
神様御不在

小林ぽんす
オカルト倶楽部①〜③
空白の扉
永久保貴一
生き人形
千年の孤独
魔の刻通り
猫魂
聖者の瞳
降魔
阿部ゆたか
変幻退魔夜行
カルラ舞う①〜⑯
トライアングルハイスクール①②
放課後のラビリンス
天使の死角
8月の死角
BUBL
御茶漬海苔
惨劇館①〜⑩
クルクル
妖怪物語①〜③
13日の御茶漬海苔
氷室奈美
タロットロード
タロットウォーズ①〜③
塚田智子
孔雀の影
きよはらひろみ
お姫様の忠告！
霊話

井出知香恵
薔薇結社
三原千恵利
ロンリィ・ハート
猫
和気はるか
まぼろしの声を聞いて
蒼い影
津田ひろみ
星のない夜
川村真弓美
幻樹をさがせ!!
さよならコレクター
井上宣
闇よ、集え！
中山星香
沈黙の声①②
ぬましりよしみ
ダークサイド・リンク
山岸涼子
鬼
来迎
メデューサ
千引きの石
汐の声

榎本由美
聖フルスルギスの夜
浅野まいこ
邪霊界
とりのささみ
とりの不思議語り
西澤暁
放し鳥
娑婆に棲む鬼
竹田やよい
フラック・オーキッド
楽園の鳥
曽祢まさこ
扉の向こうには…
しのびよる殺意
霧の殺意
復讐の牙
輪廻
死者の依頼
悪魔の十二夜①②
田中夕子
恐怖不思議秘話
サファイア
ひとみ翔
神様御不在
乙樹美どり
百の首の魔宮
闇の司祭

服部あゆみ
人魚館物語
高橋葉介
金目童子
内田春菊
呪いのワンピース
波津彬子
牡丹灯籠
木村直巳
ダークキャット①〜⑩
杉山祐子
銀のレクイエム
メビウス
サークルゲーム
白線上のアリア



ハロウィン
少女
コミック館

シャーロック・
ホームズの冒険②

ギリシャ語通訳

JET

9784257985303

ISBN4-257-98530-5

C9979 P400E

1919979004003

雑誌コード57815-30

朝日ソノラマ

定価400円(本体388円)



ハロウィン少女コミック館

シャーロック・ホームズの冒険②

ギリシャ語通訳

JET